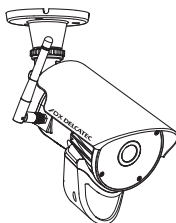


ワイヤレスフル HD カメラ & モニターセット **Full Hi-Vision**

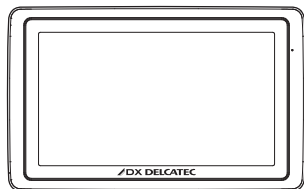
WSC610S

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。



ワイヤレスフル HD カメラ
(WSC610C)



9インチ液晶モニター
(WSC610M)

保証書付

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は液晶モニターにカメラを最大4台まで増設登録できます。増設するには専用の増設用カメラ「増設用ワイヤレスフル HD カメラ (WSC610C)」をお買い求めください。

カメラの設置方法については、施行説明書もご利用ください。
施工説明書は、下記の URL または右の QR コードで確認することができます。
http://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?category=&page=1&id=2002



もくじ

安全上のご注意	2 ~ 5
使用上のお願い	6 ~ 7
セット内容	8
各部の名称とはたらき	9 ~ 10
液晶モニター	9
カメラ	10
取り付けの前に (必ずご確認ください)	11
準備する	12 ~ 14
カメラを準備する	12
液晶モニターを準備する	13
スタンバイモードについて	14
内蔵バッテリーについて	14
カメラを設置する	15
液晶モニターの表示と操作	16 ~ 17
画面操作のしかた	16
画面表示について	16
メニュー画面を表示する	17
カメラの映像を切り替える (カメラを2台以上お使いの場合のみ) 18 ~ 19	
カメラ映像を分割表示にする (分割表示モード)	18
カメラ映像を手動で切り替える	19
カメラ映像を自動で切り替える (シーケンスモード)	19
映像の一部をズーム表示する	20
音量を調節する	20
カメラの LED 照明を手動で点灯・消灯する... 21	

インターコム (通話) 機能を使う	21
映像を録画する	22
映像を自動で録画する (動体検知録画)	22
映像を自動で録画する (スケジュール録画)	22
映像を手動で録画する	22
録画した映像を見る	23 ~ 24
録画ファイルを削除するには	24
各種設定をする	25
メニュー画面を表示する	25
照明設定	26
アラーム設定	27
輝度設定	27
一般設定	28
カメラ設定	28 ~ 30
録画設定	31 ~ 33
システム設定	34 ~ 37
モーションセンサー設定	38
ネットワーク設定	39 ~ 40
ファームウェア更新	41
スマートフォンまたは タブレットからアクセスする	42 ~ 46
故障と判断する前に	47 ~ 49
仕様	50 ~ 52
外形寸法	50
規格特性	51 ~ 52
保証書	52

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する




専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 危険	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性があるもの
 警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

 一般的な注意事項	 水ぬれ禁止	 接触禁止	 指示を守る
 一般的な禁止事項	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 プラグを抜く

使用に関する注意事項

警告

指定の電源で使用する

◇必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。

他の機器の AC アダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。

◇付属の専用 AC アダプターは AC 100V (50/60Hz) コンセントを使用する。

100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

無理な力を加えたり傷つけない

◇接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)、引っぱったりしない。

電源ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

通風孔をふさいだり、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない

火災や感電の原因となります。

結露した状態で使用しない

故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれた後に電源供給し直してください。

ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら本体やコードに触れない

感電の原因となります。

分解、改造、修理はしない

また、ライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけない

感電・火災・故障の原因となります。

故障した場合はご購入店に修理を依頼してください。

ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間ライト部は熱くなっていますので絶対に素手で触れない

やけどの原因となります。

点灯しているライトを直接見ない

視力障害の原因となります。

スピーカーを耳にあてない

難聴などの原因となります。

はじめて

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

製品を包装しているポリ袋は、乳幼児の手の届くところに置かない

頭からかぶると窒息など死亡の原因となります。



お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、消灯後温度が十分下がった後行なう

感電・やけどの原因となります。



異常があるときは、すぐに使用をやめる



次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- ◇煙がでる、変な臭いがする
- ◇内部に水や昆虫、物が入った
- ◇異音が鳴る
- ◇ACアダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化している
火災、感電、けが、故障の原因となります。

注意

距離が離れていたり、300m以内でも、間に次のような障害物が存在したり、環境により、電波が弱くなってブツブツ音、通話の途切れが起きて使えないことがあります



●障害物

- ・金属製のドアや雨戸 ・複層ガラスの窓
- ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- ・壁を何枚も隔てたところ
- ・コンクリートやトタン製の壁

●環境

- ・テレビ、ラジオ、携帯端末の電波塔が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、電波式送信機や受信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所。
- ・カメラ、液晶モニターをそれぞれ別の階や家屋などで使うとき。

お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形、変色の原因となります。



定期的に点検する

取り付けがゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。



設置に関する注意事項

警告

次の場所に設置しない



- ◇雨水などがかかる場所（液晶モニターの場合）
故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇継続的に振動が発生する場所（工事現場など）
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇浴室やシャワー室、プールなど湿気が多い所
湿気や湯気による故障の原因となります。
- ◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ◇可燃性ガスの雰囲気中
爆発によるけがの原因となります。
- ◇可燃物のそば
・ わらぶき屋根の軒下
・ ベランダなど、洗濯物や布団などが製品に触れる場所
・ 風により可燃物が飛んできてこの製品をおおうおそれのある場所
火災の原因となります。

設置、点検時は次のことに注意する

- ◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行なう。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



◇本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えない。

けがや故障の原因となります。

◇ケーブル類は正しく配置する。

引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。

◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定する。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあるので注意する。

点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。

◇取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えない。

落ちたりして、破損、けがの原因となります。

下記のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない



◇病院など特定の電波の使用を禁止された区域

◇医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室など）

◇自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く

◇心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置

誤動作による事故の原因となることがあります。

電源工事が必要な場合は、電気工事が行なえる販売店か電気工事店に依頼する



電気工事士の資格がない場合、電気工事をすることは、法律で禁止されています。

屋外コンセントは、防水ケースを使用する



屋外で屋内用のコンセントを使用すると、漏電や感電の原因となります。

コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する



ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

取付後、しっかり固定されているか、また、ときどきぐらつきがないか確かめる



固定が不十分な場合、落下して、けが、感電、故障の原因となります。

内蔵ラミネート式リチウムイオン電池の取り扱いについて

液晶モニターはラミネート式リチウムイオン電池（以下充電電池、またはリチウムイオン電池という）を使用しています。

⚠ 危険

水・海水・ジュースなどで濡らさない



内蔵の充電電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で充電電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。

ストーブなどの熱源のそばに放置しない



発熱、破裂、発火の原因となります。

充電には、必ず専用の AC アダプターを使用し、それ以外の方法では充電しない



他の充電器などを使用して充電を行なうと、発熱、破裂、発火の原因となります。

本体を火の中に投入したり、加熱しない



内蔵の充電電池の絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない



充電電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電電池がショートする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

内蔵の充電電池が変形してショートする可能性があります。発熱、破裂、発火の原因となります。



内蔵の充電電池を分解したり、改造したりしない

内蔵の充電電池には異常を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損ない充電すると、発熱、破裂、発火の原因となります。



火のそばや炎天下に停めた車中などでの充電はしない

高温になると危険を防止するための保護機構はたつき充電できなくなったり、保護機構が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。



警告

乳幼児の手の届かないところに置く

不用意な取り扱いには危険をとまないます。



電子レンジや高圧容器に入れない

急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。



本体の異常に気付いたら、ただちに使用を中止する

使用中、充電中、保管時に、異臭や発熱、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときは、絶対に使用しないでください。そのまま使用を続けると、内蔵の充電電池が発熱、破裂、発火の原因となります。



本体から液体が漏液して目に入ったときはすぐに水で洗い、医師の診察を受ける

充電電池の電解液が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。



注意

直射日光の当たる場所、炎天下に停めた車中など、高い温度となる場所に放置しない

充電電池を漏液させる原因になるおそれがあります。



静電気が発生する場所では使用しない

充電電池には、危険防止のために保護機構が組み込まれています。静電気が保護機構に損傷を与え、発熱、破裂、発火の原因となるおそれがあります。



指定温度範囲以外での充電はしない

充電電池の充電温度範囲は0℃～+40℃です。この温度範囲以外での充電は充電電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。



お買い上げ後初めてご使用になる際に、充電電池のさびや異臭、発熱、その他異常があるときは使用しない

お買い上げの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。



充電中、可燃物を上に載せたり、覆ったりしない

充電電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。



本体から漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す

皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。



内蔵の充電電池は、絶対に解体しない

分解・解体すると金属端子が露出し、ショートの原因となります。



使用上のお願い

防水性能について（カメラのみ）

本製品のカメラには、JIS 保護等級 IP65（耐塵・耐水型）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。

多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障するおそれがあります。

なお、液晶モニターおよび AC アダプターには防水性能はありません。

本製品は気密性が高いため、夏場の車内など、高温環境から常温環境に設置する場合など、急激な温度変化があった場合、一時的にカメラや、センサー部などの内部が結露する場合がありますがしばらくすると解消し、品質には影響ございません。

本製品の処理について

ご使用済みの充電電池は一般家庭ゴミとして廃棄せず、下記の「充電電池のリサイクルについて」の内容に従って処理してください。棄てられた充電電池がゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。

充電電池のリサイクルについて

内蔵のリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。なお充電電池はお客様で交換できませんので、使えなくなった本製品は廃棄せず、輸送会社に「リチウムイオン電池」を含んだ内容物であることを伝え、輸送会社の指示にしたがって梱包のうえ、宅配便の配達記録が残る方法にて、下記までご送付ください。当社が責任をもってリサイクルいたします。



Li-ion 00

■ 送付時のご注意

- ・ 送料はおお客様の負担となります。着払いでご送付いただいても受領いたしかねます。
- ・ 本製品以外は対象外です。
- ・ 回収対象外品が混入していた場合は、お客様負担にて返送させていただきます。
- ・ 回収品のお引き渡し（輸送会社が受領したとき、または郵便物として集荷されたときを含む）により、回収品の所有権は弊社に転じるものとします。また、回収品のお引き渡し後における回収中止、回収品の返却には応じられません。

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2
DX アンテナ株式会社 カスタマーセンター
0120-941-542

電池に関するその他のご注意

充電電池は消耗します。充電や使用方法によって、劣化しやすくなります。

- ・ 電池残量なしの状態（本体が動作しない程消費している状態）での放置はしないでください。
- ・ 高温になる場所では、劣化が早くなります。涼しい場所でのご使用をおすすめします。
- ・ 長期間（半年以上）お使いにならない場合、電池特性を維持するため半年に一度は満充電することをおすすめします。電池残量なしの状態でも長期間放置すると、充電できなくなることがあります。
- ・ 満充電しても充電電池の動作時間が短くなった時は、充電電池の劣化が考えられます。早めに弊社カスタマーセンターへご相談ください。

2.4GHz 帯無線製品使用時のご注意

本製品の電波周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯は、医療機器・電子レンジなどの産業・科学機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話機、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器（無線 LAN、Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。そのような場合は本製品の使用場所を変えるか、他製品の電源をお切りください。

- 本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。また、本製品に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざんなどは行なわないでください。

電波到達距離に関してのご注意

ワイヤレスカメラとモニター間に障害物や遮蔽物がない環境下での電波到達距離は、見直し300mです。

複数台のカメラを設置する場合は電波干渉のおそれがあるため、5m以上離して設置してください。

- 設置環境によっては電波到達距離が極端に短くなる場合があります。
- 電波が届かない（映像が途切れる）場合、アンテナ角度を調整していただくか、モニターの位置を移動していただくことで改善する場合があります。
- 屋外にカメラ、屋内にモニターを設置した場合、木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での電波到達距離の目安は以下の通りとなります。

※ 電波受信状況は、アンテナアイコンが3～4本であることを確認してください。

電波到達距離の目安

木造	20～40m
鉄筋構造	10～20m
鉄筋コンクリート構造	5～10m

※ 設置する場所で無線LANなど、2.4GHz帯の機器を利用している場合にも、電波受信状況が悪化する場合がありますので、無線LANなどの機器から遠ざけて設置するようお願いいたします。

※ 設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。

microSD カードについて

microSDカードを液晶モニター側面にあるカードスロットに挿入すると、動画の録画（動体検知録画・スケジュール録画・手動録画）が行なえます。

なお本製品では使用できるカードはmicroSD規格に準拠した以下のカードです。

メモリーカードの種類	microSD、microSDHC または microSDXC (Class 4以上推奨)
メモリー容量	最大128GB

- カードは挿入方向および裏表をよく確認し、ロックされるまで確実に押し込んでください。
- カードを取り出す際は必ず、録画中でないことを液晶モニター画面で確認してください。また直前まで録画を行っていた場合は、録画終了後30秒以上置いてから液晶モニターの電源を「切」にしてください。録画中にカードを取り出すとデータが破損する可能性があります。
- カードを取り出す際は、カードを「カチッ」と音がするまでいったん奥に押し込み、ロックを解除してから取り出してください。
- カードには寿命があります。一般的なカードは数百回程度の書き込みで徐々にエラー（ブロックノイズや意図しない再生の中断など）が目立つようになることがあります。このような場合は新しいカードに交換してください。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、カメラやカードの故障などにより、壊れたり消失することがあります。大事なデータ、必要なデータは都度パソコンなどに保存してください。
- 万一録画がされなかった、データが破損・消失したなどの損害に対し、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

録画時間の目安

microSD カード 容量	解像度	カメラ1台		カメラ4台	
		録画時間	フレーム レート	録画時間	フレーム レート
8GB	HD (低)	約6時間	30fps	約2時間 ×4台	7.5～ 15fps
	フルHD (高)	約6時間	15fps	約2時間 ×4台	3.75～ 7.5fps
128GB	HD (低)	約97時間	30fps	約32時間 ×4台	7.5～ 15fps
	フルHD (高)	約95時間	15fps	約31時間 ×4台	3.75～ 7.5fps

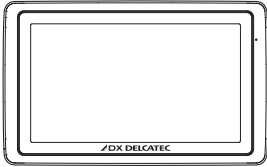
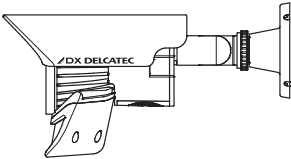

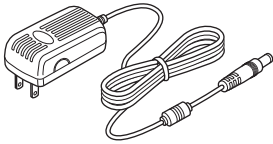
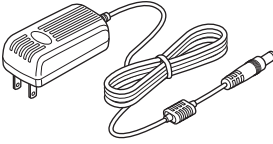
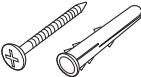
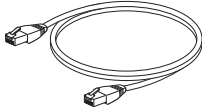

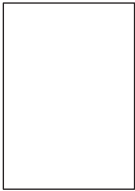
※ 弊社実測に基づく録画時間の目安です。録画時間は、通信環境や録画される内容により異なります。

※ 接続するカメラ数と解像度によってフレームレート（1秒あたりの画像コマ数）が異なるため、動画のなめらかさに影響します。

モニター内蔵時計について

本製品の録画ファイルリストやスケジュール録画など機能はモニター内蔵時計の時刻情報を基準としますので、ご使用前に時刻設定を正しく設定してください。（➡ 34 ページ）

セット内容

		
<p>9 インチ液晶モニター【1台】</p>	<p>フル HD カメラ【1台】</p>	<p>カメラ用アンテナ 【1本】</p>
 <p>(アダプター寸法：(高さ) 76.4 mm× (幅) 44.0 mm×(奥行) 38.5 mm) (コード長：1.8m)</p>	 <p>(アダプター寸法：(高さ) 86.0 mm× (幅) 44.0 mm×(奥行) 36.0 mm) (コード長：1.8m)</p>	 <p>(ネジ：25 mm) (アンカー：33 mm)</p>
<p>モニター用 AC アダプター (CS12N050200FJF) 【1個】</p>	<p>カメラ用 AC アダプター (CS18J090200FJF) 【1個】</p>	<p>カメラ取付用ネジ、 コンクリートアンカー 【各3本】</p>
	 <p>(メーカー：サンディスク)</p>	
<p>LAN ケーブル (1.8m) 【1本】</p>	<p>microSD カード (8GB) 【1枚】</p>	<p>取扱説明書 【1部】</p>

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

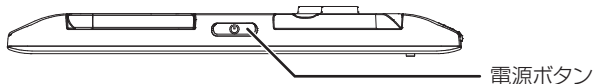
故障と判断する前に

仕様

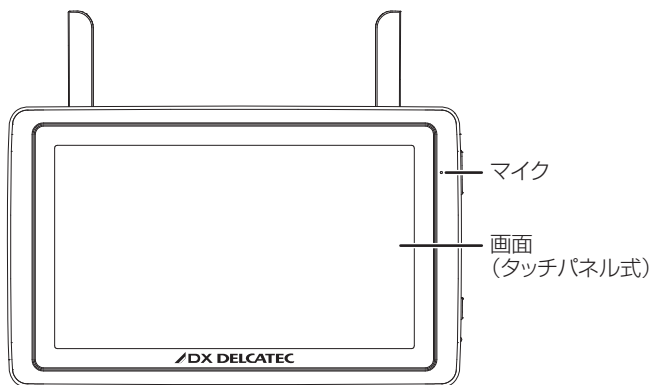
各部の名称とはたらき

液晶モニター

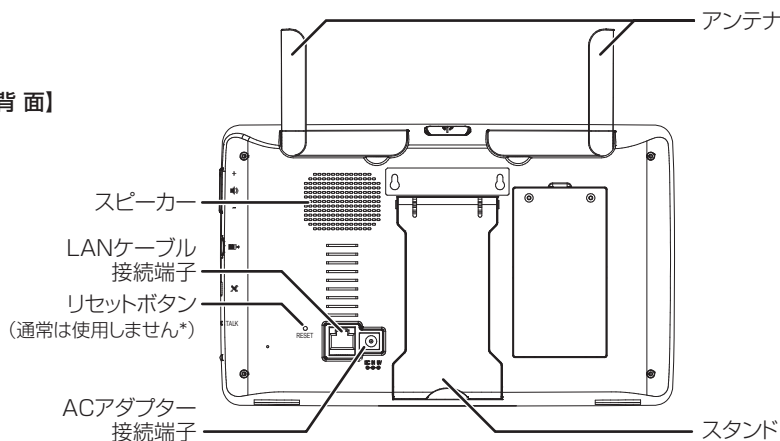
【天面】



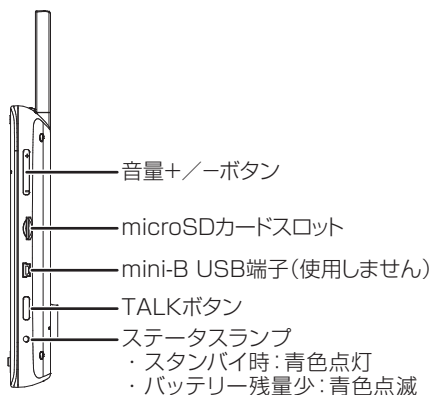
【正面】



【背面】



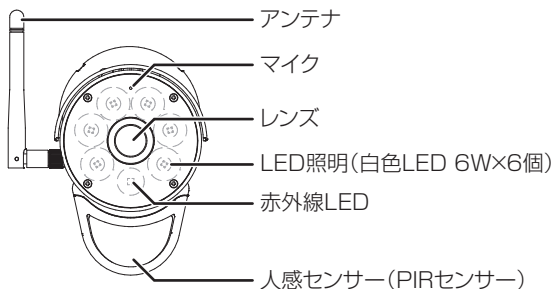
【右側面】



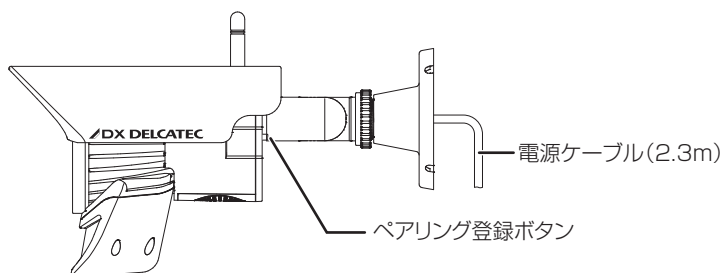
*リセットボタンは万一本製品が動作しなくなった場合に、先の細いもので押してください。
なお、押しても設定情報は初期化されません。

カメラ

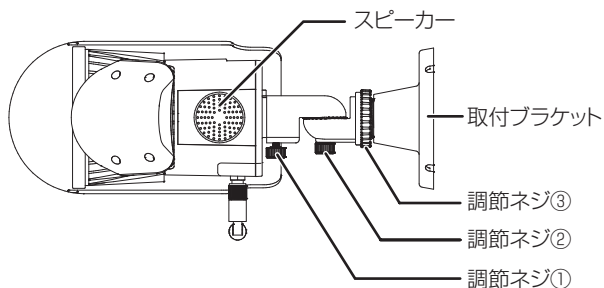
【正面】



【側面】

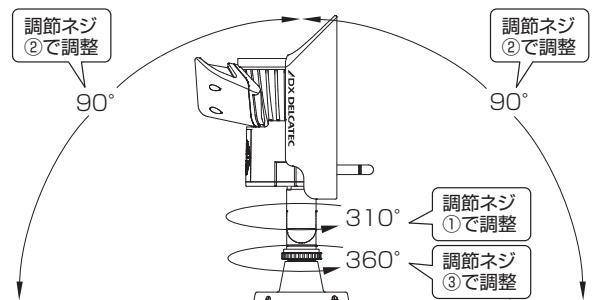


【底面】



カメラの可動範囲について

カメラの可動範囲は下図のとおりとなります。
必要に応じて各調節ネジをゆるめてカメラの角度・方向を調整してください。



ご注意

- 調節ネジ①・②は、必ず手でしめてください。
- 調節ネジ③を1～2回転ゆるめて、調節ネジ①と調節ネジ②でカメラの角度を調整後、取付ブラケット側に締め付けてください。
- 可動範囲以上に曲げないでください。製品が破損するおそれがあります。

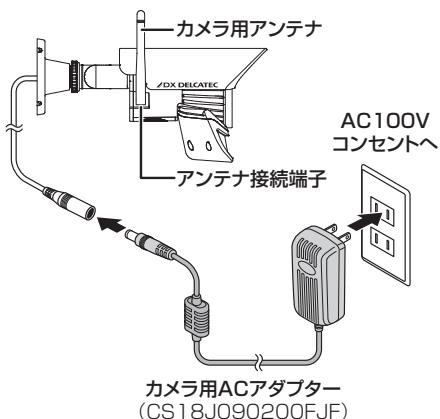
取り付けの前に (必ずご確認ください)

カメラを取り付ける前に…必ず受信確認を行なってください

1 カメラおよび液晶モニターに専用 AC アダプターをつなぐ

接続のしかたについては各ページをご覧ください。

- ・ アンテナを取り付ける (➡ 12 ページ)
- ・ カメラに電源を接続する (➡ 12 ページ)
- ・ 液晶モニターに電源を接続する (➡ 13 ページ)



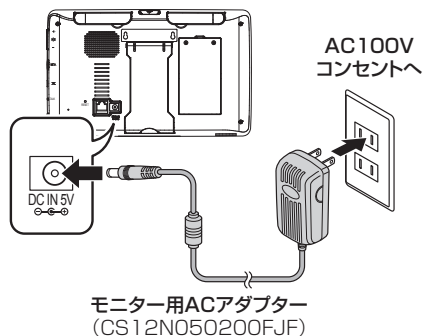
2 映像が映ることを確認する

液晶モニターの電源を長押し (約5秒) し、カメラの映像が受信できることを確認します。

※映像の切り替えかた (複数台のカメラを接続している場合) (➡ 18 ページ)

memo

- カメラの周囲が暗い場合、照度センサーが動き自動で夜間撮影モードに切り替わります (映像は白黒になります)。周囲が明るくなると夜間撮影モードは自動で終了します。
- 別売の増設用カメラ (WSC610C) をお使いの場合や映像が映らない場合は、カメラの登録 (ペアリング) を行なってください (➡ 28 ページ)。

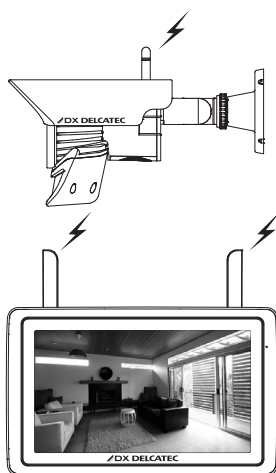


3 カメラと液晶モニターを設置場所へ移動し、映像が映ることを確認する

カメラ、液晶モニターのアンテナ方向を調整するなどして、電波が良好に受信できる場所かどうかを確認してください。

memo

- 映像がコマ送りになる、停止するなどの場合は、十分な電波が届いていない可能性があります。設置場所の変更を検討いただき、十分な電波が受信できる場所であることを再度確認してください。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

準備する

カメラを準備する

1 アンテナを取り付ける

付属のカメラ用アンテナをカメラ側面にあるアンテナ接続端子に取り付けます。

※アンテナはネジ式です。アンテナの根元部分を持ち、時計回りに回して取り付けてください。

ご注意

- アンテナを取り付けていない状態でカメラを使用することはできません。

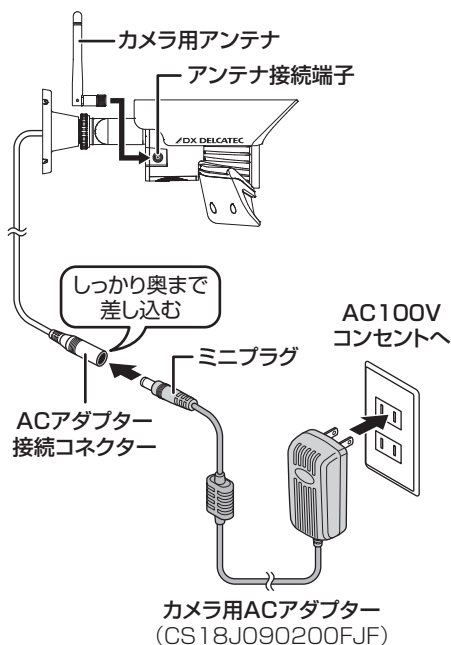
2 カメラ用 AC アダプターを取り付ける

付属のカメラ用 AC アダプターのミニプラグ側を、カメラの AC アダプター接続コネクタに接続します。

コンセントプラグ側は家庭用コンセントに接続します。

memo

- カメラの AC アダプター接続コネクタは、雨水などが浸入しにくいよう、きつめに作られています。接続の際は奥までしっかりと差し込み、軽く引っ張っても抜けないことを確認してください。



⚠ 注意

必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電などの原因となります。

ご注意

- セットには2種類の AC アダプターが同梱されています。製品記載の品番を確認の上、必ず専用の AC アダプターを使用してください。
- AC アダプターは防水 (防滴) 仕様ではありません。水に濡れない場所でご使用ください。
- カメラの AC アダプター接続コネクタは防水 (防滴) 仕様ではありません。コネクタ部が屋外になる場合は必ず市販の自己融着テープなどを使用し、防水処理を施してください。

液晶モニターを準備する

液晶モニターは AC コンセント・内蔵のリチウムイオンバッテリーの2電源方式です。用途や設置場所に合わせてお使いいただけます。

ご注意

- 初めてお使いになるときは、付属の AC アダプターを接続し、十分に充電を行なってから使用してください。内蔵バッテリーが充電できていないと、AC アダプターを差してもすぐに電源が入らない場合があります。その場合はしばらく待ってから再度電源を入れてください。

1 液晶モニター専用 AC アダプターを取り付ける

付属の液晶モニター専用 AC アダプターのミニプラグ側を本体背面の AC アダプター接続端子に接続します。

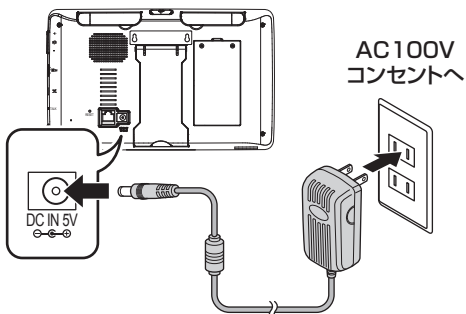
コンセントプラグ側は家庭用コンセントに接続します。



注意

必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電などの原因となります。



モニター用ACアダプター
(CS12N050200FJF)

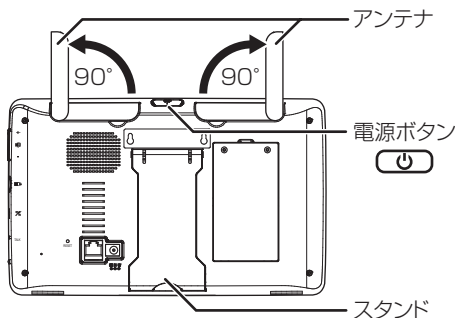
2 アンテナを起し、液晶モニターを設置する

背面のスタンドを起こして設置します。

※電波が良好に受信できる場所に設置してください。受信状況に応じて、アンテナを起こしてください。

ご注意

- モニターのアンテナは、90度以上動かさないでください。破損する可能性があります。



3 電源をオンにする

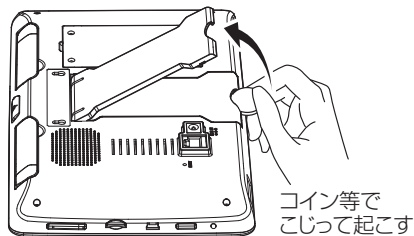
本体上部の電源 () ボタンを約5秒長押しすると、電源がオンになります。

カメラとの通信が完了すると、画面には接続カメラの映像が表示されます。

ご注意

- カメラの電源が入っていないときや通信が完了していない場合は「圏外です」と表示されます。

<スタンドの起こしかた>



液晶モニターの電源を切るときは…

電源 () ボタンを「電源をオフにします」と表示されるまで長く押し、はなしてください。

※画面表示が消えたことを確認してください。

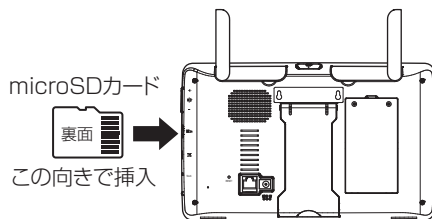
■ microSD カードスロットに microSD カードを挿入する

microSD カードを挿入しておくと、映像を録画することができます (➡ 22 ページ)。

ご注意

- SD カードの抜き差しは、必ず液晶モニターの電源を「オフ」にしてから行ってください。

挿入する際はカードの向きに注意して、しっかりと奥まで (カチッと音がするまで) 差し込んでください。



memo

- 本機で初期化 (フォーマット) されていない SD カードを挿入した場合、起動時にメモリーカードの初期化画面が表示される場合があります (➡ 36 ページ)。本機でお使いになるには、画面の指示に従い初期化を行なっていただく必要があります。

SD カードに関するご注意

- 本機でお使いいただけるのは、128GB までの microSD、microSDHC または microSDXC カードです。
- 全ての SD カードの動作を保証するものではありません。
- 規格外の SD カードを挿入しないでください。
- SD カードが挿入されていないと、SD カードアイコンが表示されません。
- 録画ファイルは容量が大きいので、動体検知録画設定でのご使用をおすすめ致します (動体検知録画設定 (➡ 22 ページ))。
- 常時録画では録画時間に限りがあるため、スケジュール録画と動体検知録画設定の併用でのご利用をおすすめ致します。
- 録画ファイルを管理しやすくするため、動体検知録画設定時の継続時間は1分でのご使用をおすすめ致します。
- SD カードの録画・再生操作中は、本機の電源を切ったり、カードを抜き差ししたりしないでください。

スタンバイモードについて

液晶モニターの電源がオンのとき、本体上部の電源 (⏻) ボタンを短く押すと、画面に「スクリーンセーバーにします」とメッセージが表示され、スタンバイモードに切り換わります。

単画面表示モード画面に戻るには、任意のボタンを短く押す、または画面をタップしてください。

- ※ スタンバイモード中は画面が表示されません。
- ※ 液晶モニター本体側面のステータスランプが青色点灯します。
- ※ ポップアップメニューやメニュー画面の表示中は、スタンバイモードははたらきません。
- ※ カメラが動体を検知すると、検知したカメラの映像が、最後に検知してから 10 秒間表示されます。
- ※ カメラが動体を検知すると、約 10 秒間表示され、再度スタンバイモードに戻ります。

内蔵バッテリーについて

液晶モニターは AC コンセント・内蔵のリチウムイオンバッテリーの2電源方式です。内蔵バッテリーでお使いの場合、バッテリーステータスアイコンが赤色点滅になったら AC アダプターを接続し、充電してください。

ご注意

- 内蔵のリチウムイオンバッテリーの交換はできません。

連続使用時間：約 2 時間 (満充電時)
充電の目安：約 9 時間 (満充電まで)

※ 使用環境によって変動する場合がございます。

カメラを設置する

カメラを取り付ける前に…必ずモニターに映像が映ることを確認してください。(⇒ 11 ページ)

施工説明書は、下記の URL または右の QR コードで確認することができます。
http://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?category=&page=1&id=2002



カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像および電波の受信確認を行なうことをおすすめします。またその際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。

- ※ 人感センサー (PIR センサー) の人感検知範囲は約5m (検知角: 約 60 度) です。
 - *1 センサーの真下は検知しにくいことがあります。
 - *2 センサーの特性上、センサーに対して人が正面から近づくと、検知距離が極端に短くなります。
- ※ 設置の際は、直射日光や外灯などの光が直接当たって高温になるのを避けるため、また、レンズへの雨水付着を防ぐため、軒下などに設置することをお勧めします。
- ※ 他の機器からの温度変化や強い振動、電気ノイズの影響を受ける場所に設置すると誤動作を起こす場合があります。

ご注意

- 強度の不足する場所、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

1 カメラを設置する場所を決める

取り付ける場所が決まったら、取付ブラケットの穴位置 (3ヶ所) に合わせてペンなどでマーキングしておきます。複数台のカメラを設置する場合は電波干渉のおそれがあるため、5m 以上離して設置してください。

※設置面の寸法については「外形寸法」(⇒ 50 ページ) を参照してください。

◆コンクリート面に設置する場合

あらかじめ設置場所に $\phi 5.5 \sim 6.0\text{mm}$ 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。

2 取付ブラケットを設置面に固定する

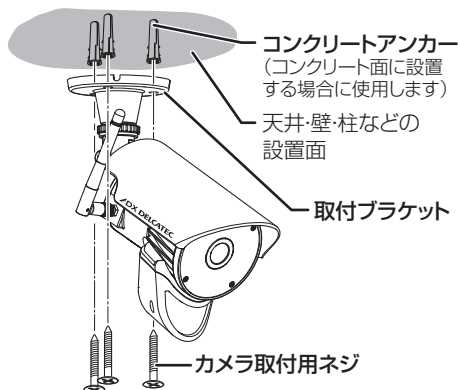
付属のカメラ取付用ネジ3本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

ご注意

- カメラを落とさないよう、しっかりと支えながら取り付けてください。

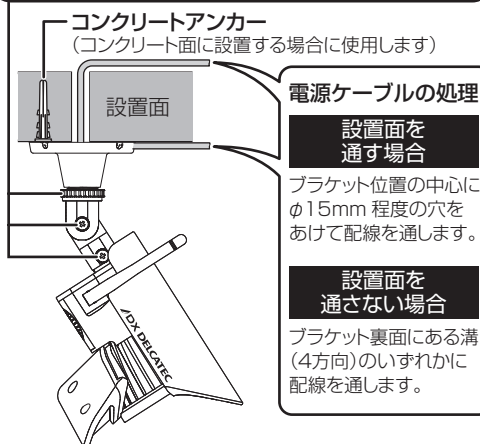
3 カメラ用 AC アダプターを接続し、液晶モニターで映像を確認しながらカメラの角度・方向を調整する

取付ブラケット各部の調節ネジを少しゆるめて角度・方向を調整します。調整が終わったら、ゆるめた調節ネジをしっかりと締め付けます。



角度・方向の調整

調節ネジを適宜ゆるめて最適な角度・方向に調整します。カメラの可動範囲については「カメラの可動範囲について」(⇒ 10 ページ) を参照してください。



液晶モニターの表示と操作

画面操作のしかた

液晶モニターの画面はタッチパネル式です。操作はモニター画面をタップして行ないます。

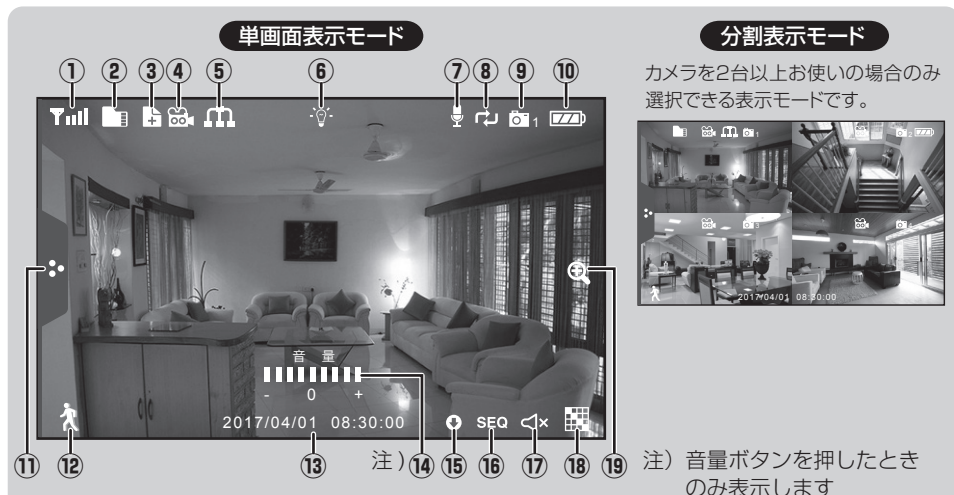
画面表示について

液晶モニターの電源を「オン」にし、カメラからの電波を受信すると以下のような画面が表示されます。この画面を“通常表示画面”と呼びます。

1つのカメラ映像を表示する状態を“単画面表示モード”と呼びます。

■ カメラを2台以上お使いの場合

画面を4分割して1画面に4つのカメラ映像を同時に表示させる“分割表示モード”でも表示できます。



① 受信強度

カメラからの受信電波強度を示します。



(0: 圏外) (1: 悪い) (4: 良い)

※ 受信感度は「4」をお勧めします。

「3」以下の場合には映像が途切れる場合があります。

※ 分割表示モード中は表示されません。

② SD カード

microSD カードが挿入されているときに表示します。

- (青色) …空き容量あり
- (赤色点滅) …空き容量なし

押すと録画ファイルリスト画面を表示します。(→ 23 ページ)

③ 新規録画データあり (→ 23 ページ)

新しい録画データがあるときに表示します。

④ 録画 (→ 22 ページ)

押すとそのカメラチャンネルの録画を開始します。

・ (赤色点滅) …録画中

赤色点滅表示中に押すと、録画を終了します。

⑤ ネットワークステータス (→ 39 ページ)

ネットワーク接続状態を示します。

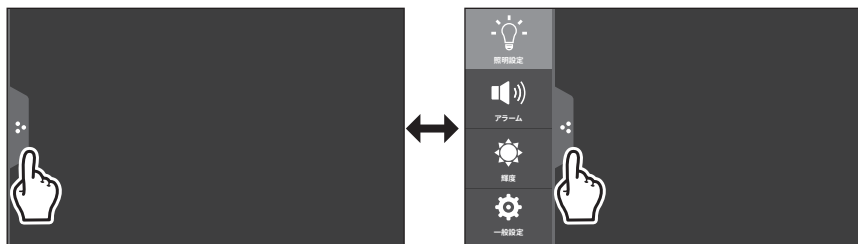
- (緑色) …インターネット接続
- (緑色) …スマートフォンアプリとの接続時
- (黄色) …イントラネット接続
- (赤色) …接続なし

メニュー画面を表示する

ポップアップメニュータブを押す

押すたびに、ポップアップメニューが表示／非表示されます。

※ 各メニュー項目の詳細については「設定する」の章(⇒25～41ページ)をご覧ください。



⑥ 照明 (⇒21ページ)

カメラのLED照明を手動で点灯・消灯できます。

- ・ (白色) …消灯
- ・ (青色) …点灯

⑦ マイク (⇒21ページ)

TALK ボタンを押している間は、モニターのマイクからカメラに送話できます。

※ TALK ボタンを押している間、 (青色) を表示します。

⑧ SD カード書き込みステータス (⇒33ページ)

microSD カードが上書き可になっている場合に青色で表示します。

⑨ カメラチャンネル (1～4)

カメラのチャンネル番号を示します。

- ・ (白色) …圏外
- ・ (青色) …圏内

⑩ バッテリーステータス

モニターのバッテリー状態を示します。

- ・ (青色) …バッテリー残量 (3段階表示)
- ・ (赤色点滅) …バッテリー残量少

AC アダプターから給電中

- ・ (3段階を順次点灯) …充電中
- ・ (青色) …充電完了

⑪ ポップアップメニュータブ (⇒25ページ)

この部分に触れるたび、「ポップアップメニュー」を表示／非表示します。

⑫ 動体検知録画 (⇒22ページ)

動体検知録画モードをオン／オフします。

- ・ (青色) …動体検知録画モード：オフ
- ・ (赤色) …動体検知録画モード：オン

⑬ 日付・時刻表示 (⇒34ページ)

現在の日付・時刻を表示します。

⑭ 音量表示 (⇒20ページ)

液晶モニターの音量+/- ボタンを押したときのみ、現在の音量を表示します。

⑮ ファームウェア通知 (⇒41ページ)

新しいファームウェアがある場合に表示します(ネットワーク接続時のみ)。

⑯ シーケンスモード(カメラを2台以上お使いの場合のみ) (⇒19ページ)

表示されているとき、カメラが自動で切り替わります。

⑰ 消音

音量が「0」のときに表示します。

⑱ チャンネル切替(カメラを2台以上お使いの場合のみ) (⇒18ページ)

表示チャンネルを手動で切り替えます。

⑲ ズーム (⇒20ページ)

ズーム画面を表示します。

カメラの映像を切り替える(カメラを2台以上お使いの場合のみ)

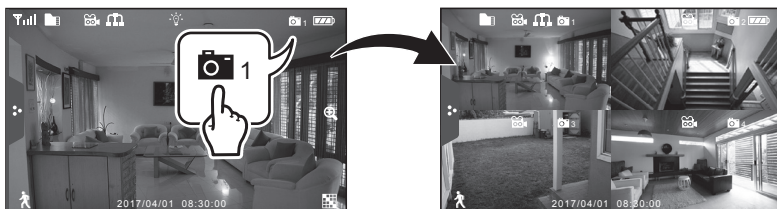
カメラを2台以上お使いの場合は、画面を4分割して1画面に複数のカメラ映像を同時に表示させる“分割表示モード”が便利です。

そのほか、画面を各カメラチャンネルに自動で切り替える“シーケンスモード”や、手動でのカメラチャンネル切り替えなど、用途や目的に応じた表示方法が選べます。

カメラ映像を分割表示にする(分割表示モード)

単画面表示モード時に、画面右上のカメラ (📷₁) アイコンを押す

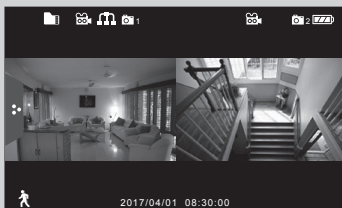
分割表示モード画面に切り替わります。



単画面表示モード時は、
音声もモニタリングされます。

memo

- 分割表示モード中は、音声のモニタリングはできません。
- カメラの登録台数が2台のときは、2分割画面となります。

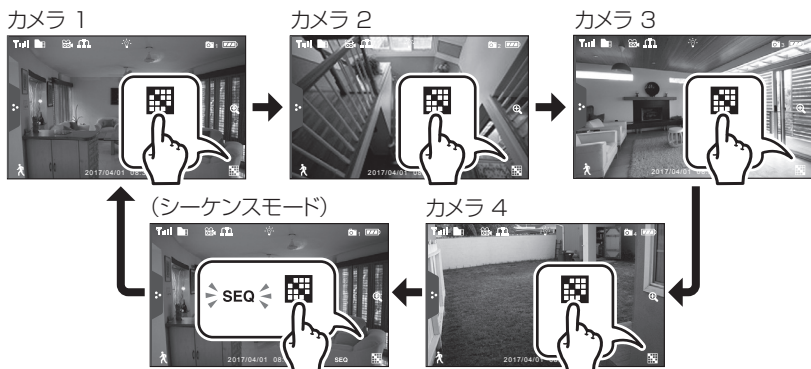


分割表示モードを終了するには


分割表示モード中に画面のいずれかの部分(メニュータブ以外)を押すと、単画面表示モードに戻ります。

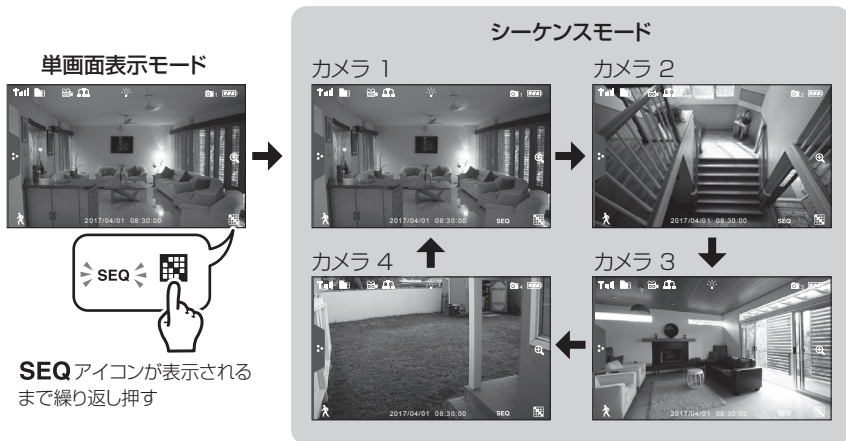
カメラ映像を手動で切り替える

単画面表示モード時に、チャンネル切替 () アイコンを押す
押すたびに各カメラの映像および音声に切り替わります。



カメラ映像を自動で切り替える (シーケンスモード)

単画面表示モード時に、チャンネル切替 () アイコンを
シーケンスモード (SEQ) アイコンが表示されるまで繰り返し押す
表示画面が約7秒間隔で各カメラの映像および音声に自動で切り替わります。



memo

- 表示中に画面のいずれかの部分 (メニュータブ以外) を押すと、分割表示モードになります。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

映像の一部をズーム表示する

表示中のカメラ映像の一部を拡大して表示できます。

ズーム(⊕)アイコンを押し、5つの領域からズーム表示したい部分を押す

選んだ領域がズーム表示されます。

memo

- 分割表示モード中はズーム表示できません。

ズーム表示を終了するには

ズーム表示中に、画面右の⋮アイコンを2回押します。

単画面表示モード



ズーム表示したい領域を選ぶ



ズーム表示に切り換わる



元の画面
(単画面表示モード)
に戻るには…

⋮
⋮
を
2回押す

音量を調節する

本製品はカメラに音声マイクを搭載しており、カメラ設置場所周辺の音声を、液晶モニターでモニタリングする(聞く)ことができます。モニタリング時の液晶モニターの音量は調節することができます。

音量+/-ボタンを押す

音量は0(消音)～9(最大)に調節できます。

※ 初期設定値 : 「5」

※ 0(消音)にした場合、画面右下に消音(🔇)アイコンが表示されます。

memo

- 単画面表示モード時以外は音量の調節はできません。
- カメラ側のスピーカー音量は調節できません。
- モニターとカメラの距離が近い場合は、ハウリングによりモニターから異音が入りまますので音量を下げるか、またはモニターを置かれる位置、方向を調整してください。

カメラの LED 照明を手動で点灯・消灯する

カメラに搭載された LED 照明の点灯・消灯を液晶モニター側で操作できます。

※ 照明は動体検知録画モードと連動して点灯させることもできます。「照明設定」(→ 26 ページ)

単画面表示モード時に、画面上部中央の照明 (🔦) アイコンを押す

押すたびに点灯・消灯が切り替わります。

- ・ 🔦 (白色) …消灯
- ・ 🔦 (青色) …点灯

※ 手動で LED 照明を点灯または消灯させた場合、照明アイコンの右下に "M" と表示されます。

memo

- 分割表示モード中は操作できません。

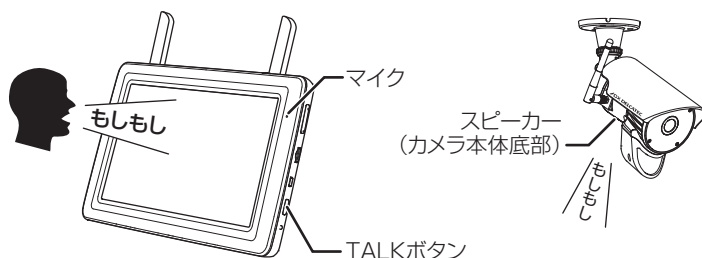
インターコム (通話) 機能を使う

カメラと液晶モニターにはそれぞれマイクとスピーカーが搭載されています。

液晶モニターの TALK ボタンを押して、カメラに送話することができます。

単画面表示モード時に、液晶モニター側面の TALK ボタンを押し続ける

押し続けている間、液晶モニターのマイクからカメラのスピーカーへ送話できます。



※ 液晶モニター側で TALK ボタンを押し続けている間は、カメラ側の音声は聞こえません。TALK ボタンを離すと、元の状態 (カメラ側の音声のみが聞こえる状態) に戻ります。

memo

- 単画面表示モード中のみ利用できます。

映像を録画する

映像を録画するには、あらかじめ microSD カードを挿入しておく必要があります (➡ 14 ページ)。


- 録画を行なう前に「日付と時間」 (➡ 34 ページ) を正しく設定してください。
- 録画した映像は日付別に保存され、録画時刻と録画カメラ番号を表すファイル名で管理されます。(例: "202544-1" は、午後 8 時 25 分 44 秒に録画が開始されたファイル名で、末尾の 1 はチャンネル 1 を意味します。)
- 録画ファイルは 5 分毎に区切って保存されます。そのため、5 分以上続けて録画する場合は、複数のファイルに分けて保存されます。
- 録画中のカメラとの通信が途絶えた場合、録画が一時中断されます。

映像を自動で録画する (動体検知録画)


本機は動体を検知すると自動的に映像を記録する、動体検知録画機能があります。

※ 動体検知録画中は  アイコンが赤色点滅します。(初期設定値:「オン」)

画面左下の動体検知録画 () アイコンを押す

動体検知録画モードが「オン」のときは、  アイコンが赤色表示されます。

押すたびに「オン」・「オフ」が切り替わります。

※ 動体検知録画モードが「オフ」のときは  アイコンが青色表示されます。

memo

- 録画時間は 15 秒・30 秒・1 分のいずれかに設定できます (➡ 31 ページ)。
- 録画された映像は「録画ファイルリスト」 (➡ 次ページ) で確認できます。
- 動体を検知した際、連動して照明を点灯させることもできます。「照明設定」 (➡ 26 ページ)
- 録画時間は動体検知が続くたびに延長されます。最後に検知したときから設定した録画時間 (15 秒・30 秒・1 分のいずれか) が経過すると、録画を終了します。


映像を自動で録画する (スケジュール録画)

録画を行なうカメラや録画を行なう曜日、録画開始時間・終了時間を指定して、スケジュール録画ができます。詳しくは「スケジュール録画」 (➡ 32 ページ) をご覧ください。

映像を手動で録画する

録画するカメラを指定してボタンを押すことで、録画を任意に開始・終了することができます。

録画したい映像の録画 () アイコン (青色) を押す

選択したカメラ映像の録画が始まります。録画中は  アイコンが赤色点滅します。

終了するにはもう一度  アイコンを押します。  アイコンが青色点灯に戻ります。

※ 録画された映像は「録画ファイルリスト」 (➡ 次ページ) で確認できます。

ご注意

- 手動録画の場合、録画は自動停止しません。

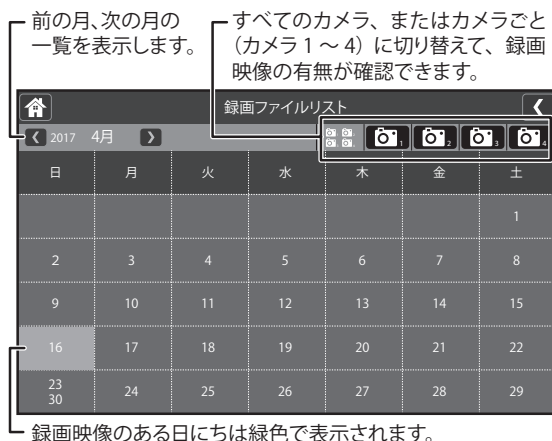
録画した映像を見る

- 1 モニター画面左上のSDカード(📁)アイコンを押す
録画ファイルリスト画面が表示されます。

memo

- 録画中でも映像を再生することができます。
- 録画済みの映像を複数の端末で同時に視聴することはできません。
(例：アプリを使用してスマートフォンで視聴しているときは、液晶モニターで視聴することはできません。)

- 2 録画ファイルリスト画面で録画映像のあるいずれかの日にちを押す
選んだ日にちの録画一覧がリスト表示されます。



- 3 録画ファイルリスト画面で確認したい映像ファイル名を押す
再生が始まります。



録画した映像を見る

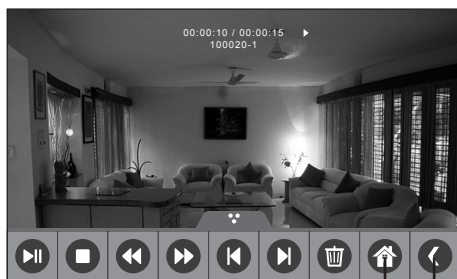
4 再生中に以下の操作を行いたい場合は、画面下に表示される操作ボタンを押す。

	再生／一時停止		次の映像
	停止		前の映像
	巻戻し・早送り (×1* / ×2 / ×4 / ×8 / ×16) *「×1」は巻戻し時のみ		
			

※ポップアップメニュータブを押して操作ボタンの表示／非表示を切り替えることができます。



5 録画ファイルリストを終了するには、右下のアイコンを押す



録画ファイルを削除するには

以下のいずれかの方法で削除できます。

- ・ 前頁手順 **2** でファイル名の右端にあるゴミ箱 () アイコンを押す
- ・ 前頁手順 **3** で映像を再生中に停止または一時停止し、操作バー内にあるゴミ箱 () アイコンを押す

各種設定をする

本機に関する各種設定はメニュー画面で行ないます。

メニュー画面を表示する

- 1 ポップアップメニュータブを押す
ポップアップメニューが表示されます。



- 2 設定を行ないたいメニュー項目を押す
選んだメニューが表示されます。
(画面は「照明設定」メニューを開いた状態)



- 3 表示中のメニュー項目を終了するには、メニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

※「アラーム」「輝度」メニューを終了するとき、ポップアップメニュータブを押してください。

memo

- ポップアップメニューやメニュー画面を表示中に、何も操作しない状態が約1分間続くと、自動的に元の画面に戻ります。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

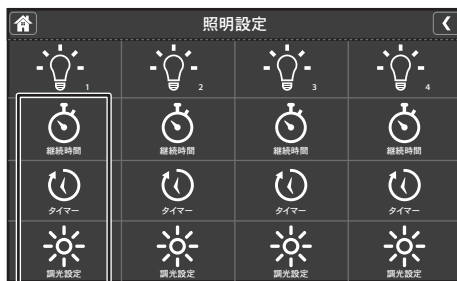
仕様

照明設定

カメラのLED 照明に関する設定をします。

1 ポップアップメニューから「照明設定」を押す

照明設定メニューが表示されます。



「カメラ1」の設定

2 設定を行ないたいカメラ番号(1～4)の項目名を押す

項目	設定の内容	設定値
継続時間	動体を検知したときにLED照明が点灯を続ける時間を設定できます。	Off(点灯しない) / 1分/3分/10分(初期設定値:1分)
タイマー	曜日や時刻を指定してLED照明を点灯・消灯するよう設定できます(スケジュール点灯)。	LED照明を点灯・消灯する曜日・時刻を設定します。
調光設定	LED点灯時の明るさを設定できます。	25% / 50% / 75% / 100%(初期設定値:100%)

設定値を選んで設定します。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

- ...ひとつ前の画面に戻ります。
- ...通常表示画面に戻ります。

memo

- 例:午後10時～午前4時まで日にちをまたいで点灯する場合
曜日を月曜日、点灯時刻を午後10時、消灯時刻を午前4時に設定すると月曜日の午後10時から火曜日の午前4時まで点灯させることができます。

ご注意

- 日付を指定して設定することはできません。
- カメラの周囲が明るいと動体を検知しても点灯しません。

アラーム設定

カメラが動体を検出した際にモニター側にアラーム（通知）音を鳴らすように設定できます。また、単画面表示中にカメラが圏外になった場合にも、30秒ごとにアラームを鳴らしてお知らせします。（初期設定値：「0」）

1 ポップアップメニューから「アラーム」を押す

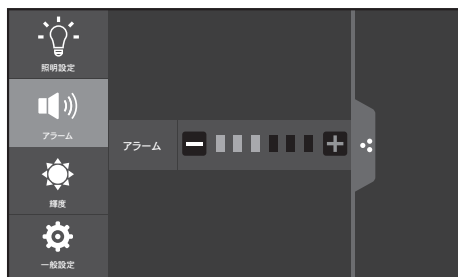
アラーム設定メニューが表示されます。

2 画面上の一／+を押して好みの音量に設定する

押すたびに設定した音量でアラーム音が鳴ります。

※音量は0（無音）～6（最大）まで設定できます。なお、0に設定した場合はアラーム音が鳴りません。

3 終了するにはポップアップメニュータブを押す



輝度設定

モニターの明るさレベルを設定できます。カメラチャンネル単位で設定できます。

ご注意

- 設定を行ないたいカメラチャンネルをあらかじめ単画面表示モードで表示した状態で、ポップアップメニューから輝度設定を開いてください。分割表示モードで輝度設定を開いた場合、設定画面は表示されますが、操作を受け付けません。

1 設定を行ないたいカメラを単画面表示モードで表示した状態で、ポップアップメニューから「輝度」を押す

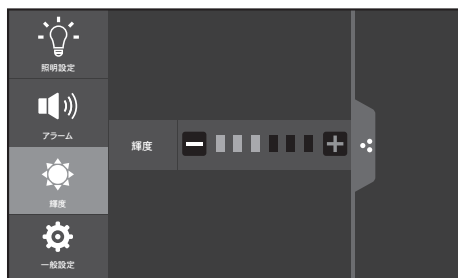
輝度設定メニューが表示されます。

2 画面上の一／+を押して好みの明るさレベルに設定する

押すたびに明るさレベルが変わります。

※明るさは1（暗い）～6（明るい）まで設定できます（初期設定値：「3」）。

3 終了するにはポップアップメニュータブを押す



一般設定

ポップアップメニューから「一般設定」を選ぶと、以下の6つの設定項目が表示されます。

- カメラ設定
- 録画設定
- システム設定
- モーションセンサー設定
- ネットワーク設定
- ファームウェア更新

カメラ設定

カメラに関する以下の設定をします。

項目	設定の内容
ペアリング	カメラと液晶モニターのペアリング設定をします。
On / Off	モニターのチャンネルのオン・オフを設定します。
解像度	カメラの表示画質（フルHD【高】・HD【低】）を設定します。

ペアリング

カメラと液晶モニターをペアリングします。

ペアリングはカメラを増設登録する際や、別のカメラチャンネル番号に登録し直す際に行ないます。

memo

- あらかじめペアリングを行ないたいカメラと液晶モニターを近くに置いてください。
- 複数台のカメラを登録する場合、登録は1台ずつ行なってください。
- 登録は4台まで可能です。

1 一般設定から「カメラ設定」を選び、「ペアリング」を押す

ペアリング設定画面が表示されます。



2 登録したいカメラチャンネル番号（1～4のうちいずれか）を押す

液晶モニターがペアリングモードになり、30秒のカウントダウン画面が表示されます。

※カウントダウン中は他の画面は表示できません。



ご注意

- 登録したいチャンネルを間違えないようご注意ください。

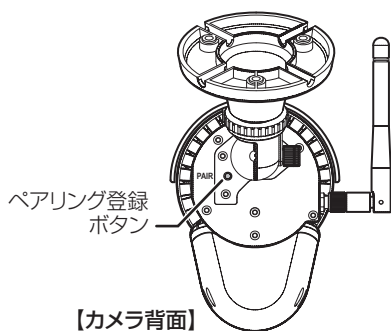
一般設定

3 30秒以内にカメラ背面のペアリング登録ボタンを押す

ペアリングに成功するとカウントダウン表示が消え、約3秒後にカメラの映像が表示されます。

■ 複数台のカメラを登録する場合

手順1～3を繰り返してください。



【カメラ背面】

On / Off

本機に接続されているカメラの映像を表示、または非表示に設定します。

1 一般設定から「カメラ設定」を選び、「On / Off」を押す

On / Off 設定画面が表示されます。

2 設定を行ないたいカメラ番号(1～4)の下にあるスイッチを押す

| (表示する) または ○ (表示しない) を押すと「しばらくお待ちください」とメッセージが表示されます。

設定が完了すると、再び On / Off 設定画面に戻ります。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。



memo

- ○ (表示しない) に設定していても、カメラの電源は「切」になりません。
- ○ (表示しない) に設定したカメラチャンネルは画面に表示されません。

単画面表示モード時 および手動切替時

○ (表示しない) に設定したカメラチャンネルは切り替え時にスキップされます。

分割表示モード時

○ (表示しない) に設定したカメラチャンネルは表示されません。
※ 黒い画面になります。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

解像度

本機に接続されているカメラの画質を設定します。

1 一般設定から「カメラ設定」を選び、「解像度」を押す

設定画面が表示されます。

2 設定を行ないたいカメラ番号(1~4)の下にある「高」または「低」ボタンを押す


高	画素数：高 (フレームレート 15fps)
低	画素数：低 (フレームレート 30fps)

※この設定は録画ファイルのファイルサイズにも影響します。

※上表内に記載の各フレームレートは、単画面表示時のものです。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

 …ひとつ前の画面に戻ります。

 …通常表示画面に戻ります。



録画設定

録画に関する以下の設定をします。

項目	設定の内容
継続時間	動体検知録画モードでの1回あたりの録画時間を設定します。
スケジュール録画	曜日や時間、カメラを指定して録画する設定ができます。
ファイル上書き	SDカードの上書き設定をします。
録音を On/Off	録音時、音声の記録をする・しないを設定します。

継続時間

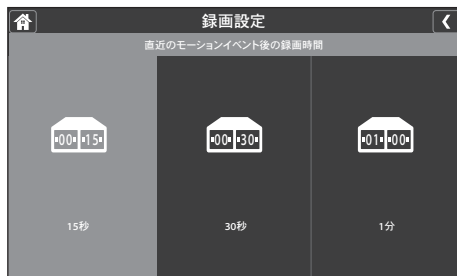
動体検知録画モードで録画する際の、1回あたりの録画継続時間を設定します。

- 1 一般設定から「録画設定」を選び、「継続時間」を押す
設定画面が表示されます。

- 2 設定を選ぶ

15 秒
30 秒
1 分

動体検知録画の際、設定した時間録画を続けます。



- 3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

- ◀ …ひとつ前の画面に戻ります。
- 🏠 …通常表示画面に戻ります。

memo

- 録画時間は動体検知が続くたびに延長されます。最後に検知したときから設定した録画時間（15秒・30秒・1分のいずれか）が経過すると、録画を終了します。

スケジュール録画

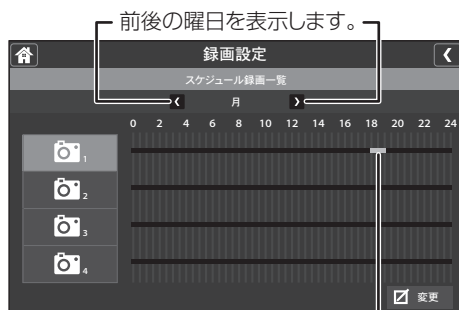
録画を行なうカメラや録画の開始・終了時間を指定して録画できます(スケジュール録画)。
※ 複数台のカメラを使用している場合は、一度に複数台のカメラ映像を録画することもできます。

ご注意

- 日付をまたいで録画スケジュールを設定したいときは、日付別にセッションを2つに分けて設定してください(例:午後11時から翌日の午前1時までを1セッションで録画する、など)。
- 録画の実行前に、SDカードに十分な空き容量があるか確認してください。
- 日付を指定して設定することはできません。

1 一般設定から「録画設定」を選び、「スケジュール録画」を押す
スケジュール一覧画面が表示されます。

2 画面右下の「変更」を押す
スケジュール設定画面が表示されます。



スケジュール録画設定
例)月曜の18時～19時にカメラ1の映像を録画する

3 登録する内容を設定する

- 1 カメラ(1～4)を選ぶ**
録画を行なうカメラを選びます(複数可)。
- 2 曜日を選ぶ**
録画を行なう曜日を選びます(複数の曜日選択も可能)。
- 3 開始時間、終了時間を設定する**
録画を開始、終了する時刻をそれぞれ設定します。(15分きざみ)
※日付をまたいで時間を設定する場合は、終了時間を24:00に設定し、翌日の開始時間を0:00に設定してください。
- 4 スケジュールを登録するには「保存」を押す**
設定が保存され、スケジュール一覧画面に戻ります。
※一覧画面で設定した日時が登録されているか確認してください。



memo

- **登録済みのスケジュールを削除するには**
スケジュール設定画面で、削除したい設定内容(カメラ番号、曜日、開始・終了時間)を画面上で設定したあと、「削除」を押します。

4 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

- ◀ …ひとつ前の画面に戻ります。
- 🏠 …通常表示画面に戻ります。

ファイル上書き (SD カードの上書き設定)

SD カードの容量が一杯になったとき、データを上書きする、しないを設定します。

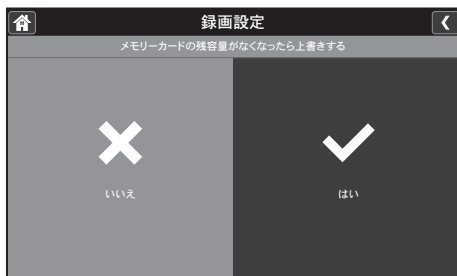
※「はい(上書きする)」に設定すると、録画中にSDカードの容量が一杯になったとき、SDカード内に保存されている日時の古いデータから順に消去されます。

- 1 一般設定から「録画設定」を選び、「ファイル上書き」を押す

設定画面が表示されます。

- 2 設定を選ぶ

はい	上書きする ※SDカード書き込みステータスアイコンが表示されます(⇒17ページ)。
いいえ	上書きしない ※SDカードの空き容量が一杯になった場合、録画は中止されます。



- 3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

録音を On/Off

録画時に、音声を録音する、しないを設定します。

- 1 一般設定から「録画設定」を選び、「録音を On/Off」を押す

設定画面が表示されます。

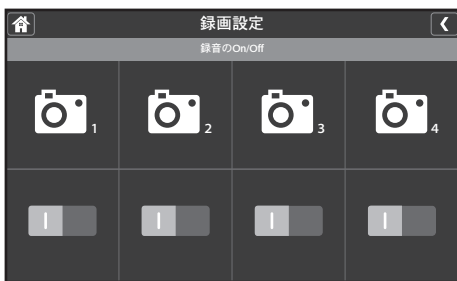
- 2 設定を行ないたいカメラ番号(1~4)の下にあるスイッチを押す

I (録音する) または O (録音しない) を選択します。

- 3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。



システム設定

システムに関する以下の設定をします。

項目	設定の内容
日付と時間	日付と時間を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。(通常は使用しません。)
言語	画面の表示言語を設定します。
初期設定	設定を工場出荷時の状態に戻します。
メモリーカードを初期化	SDカードを初期化します。
フリッカー	液晶モニター画面がちらつく場合などに設定します。

日付と時間

現在の日付・時刻を設定します。

※ スケジュール録画などはこの設定日時を基準としますので、正しく設定してください。

1 一般設定から「システム設定」を選び、「日付と時間」を押す

設定画面が表示されます。

2 日付や時刻を設定する

必要に応じて各項目(年・月・日・時・分)を選び、それぞれ▲▼を押して設定します。

※本機をインターネットに接続している場合は「インターネット上のタイムサーバーと自動同期」を選ぶこともできます。

ご注意

- モニターに表示される時間が徐々にずれてしまうことがあります。時間がずれると、録画の開始または終了時間が実際の時間と異なります。インターネットに接続されている方は、インターネット上のタイムサーバーと自動同期を選択していただければ、時間がずれることはありません。インターネットに接続されていない方は、上記画面にて手動で時間設定をしていただかないと時間が戻ることはありません。



3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

タイムゾーン

タイムゾーンを変更する場合に設定を変更できます。

※ 通常は初期設定値 ((GMT +09:00) 大阪、札幌、東京、ソウル) のままでご使用ください。

1 一般設定から「システム設定」を選び、「タイムゾーン」を押す

設定画面が表示されます。



2 タイムゾーンを設定する

▲▼を押して設定します。

※ サマータイムを適用するときは「サマータイムを自動で調整」を選びます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

言語

液晶モニター画面の表示言語を変更できます。

1 一般設定から「システム設定」を選び、「言語」を押す

設定画面が表示されます。

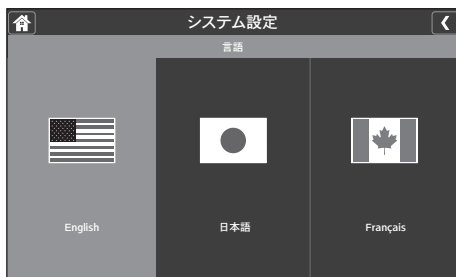
2 言語を設定する

言語を選ばと、画面がその言語に切り替わります。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。



初期設定

すべての設定（下表を除く）を工場出荷時の状態に戻します。

※ 下記の設定項目は初期化されません。

「カメラ設定」内	「ペアリング」・「On / Off」
「システム設定」内	「日付と時間」・「タイムゾーン」
「ネットワーク設定」内	パスワード（「パスワードのリセット」を行ないません。）

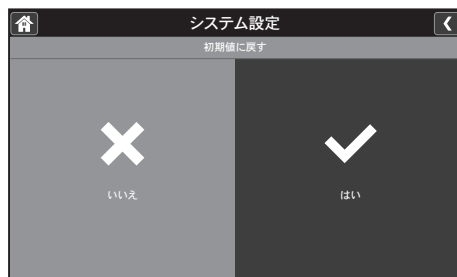
1 一般設定から「システム設定」を選び、「初期設定」を押す

設定画面が表示されます。

2 設定を初期化するには「はい」を選ぶ

「はい」を選ぶと、「初期化」とメッセージが表示され、直ちに設定の初期化が行なわれます。

初期化が完了すると、再び初期設定画面に戻ります。



3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

メモリーカードを初期化

本機に挿入されているSDカードを初期化（フォーマット）します。

※ 初期化すると、SDカード内のすべてのデータが消去されます。くれぐれもご注意ください。

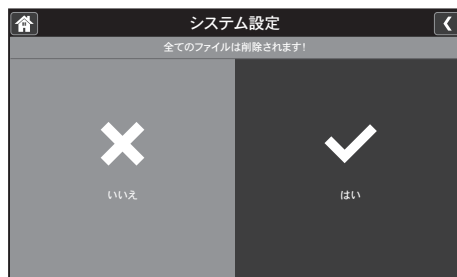
1 一般設定から「システム設定」を選び、「メモリーカードを初期化」を押す

設定画面が表示されます。

2 「はい」を選ぶと確認画面が表示されるので、もう一度「はい」を押す

「フォーマット中 しばらくお待ちください」とメッセージが表示され、初期化が行なわれます。

初期化が完了すると、「システム設定」画面に戻ります。



3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

フリッカー

液晶モニター画面がちらつく場合などは、この設定を変更することで、ちらつきを解消できる場合があります。

1 一般設定から「システム設定」を選び、「フリッカー」を押す

設定画面が表示されます。

2 「50Hz」または「60Hz」を選ぶ

※初期設定値：「60Hz」

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

 …ひとつ前の画面に戻ります。

 …通常表示画面に戻ります。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

モーションセンサー設定

画像の変化を検知するモーションセンサーの設定ができます。

※ 画像の変化が小さいと検知しない場合があります。

1 一般設定から「モーションセンサー設定」を押す

モーションセンサー設定画面が表示されます。

2 設定を行ないたいカメラ番号(1~4)の「感度」または「検知範囲」を押す

■「感度」を設定するとき

高	感度を上げる
低	感度を下げる
Off	動体検知をしない

設定値を選んで設定します。

※初期設定値:「Off」

モーションセンサーをOffに設定することはできますが、人感センサーをOffに設定することはできません。



「カメラ1」の設定

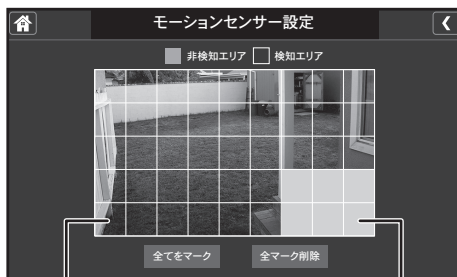
■「検知範囲」を設定するとき

「検知範囲」を選ぶと、検知範囲設定画面が表示されます。

表示画面内で、検知したくない場所の枠を押すと、青色のマークで塗りつぶされます(非検知エリア)。

※見えている部分が検知を行なう範囲となります(検知エリア)。

※「全てをマーク」を押すと全エリアが青色にマーク(非検知エリア)されます。「全マーク削除」を押すと全エリアのマークが削除されます。



検知エリア

非検知エリア(青色)

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

memo

- 動体検知にはモニターのモーション検知とカメラの人感センサー(PIRセンサー)があり、人感センサー(PIRセンサー)が優先されます。
- カメラの人感センサー(PIRセンサー)の人感検知範囲(距離:5m/検知角:60度)の赤外線の変化を検知します(「モーションセンサー設定」の設定の影響を受けません)。
- 赤外線撮影時(夜間)はモーションセンサーが動作しません(Off)。

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定や、情報の確認が行なえます。

項目	設定の内容
高度な設定	DHCP または固定 IP の設定をします。
パスワードをリセット	パスワードを初期化します。
情報	ネットワーク情報、製品端末情報などを表示します。

高度な設定

インターネットに接続する際に必要となる IP アドレスの割り当て方法を設定します。
DHCP または固定 IP のいずれかを選びます。

※ 通常は「DHCP」を選んでください。DHCP サーバー機能のあるブロードバンドルーターなどに接続し、自動で IP アドレスを取得できます。

1 一般設定から「ネットワーク設定」を選び、「高度な設定」を押す

設定画面が表示されます。

2 「DHCP」または「固定 IP」を押す

DHCP	IP アドレスを自動で割り当てる ※ 画面中央にあるスイッチを押します (I または O)。
固定 IP	IP アドレスを手動で設定する ・ IP アドレス ・ サブネットマスク ・ デフォルトゲートウェイ ※ 各欄を選択すると画面右上にテンキーが表示されます。ご契約のインターネット回線の設定値に基づき設定してください。

設定が終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

3 設定を有効にするため、「はい」を選んで液晶モニターを再起動する

液晶モニターが再起動後、受信画面を表示します。

※ 設定の内容は「情報」で確認できます。



固定IP設定画面



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

パスワードをリセット

スマートフォン、タブレットなどを使って外部から本機へ接続する際は、パスワードが必要となります。パスワードの設定はアプリケーション側で行ないます。本機ではパスワードのリセット（初期設定値に戻す）のみ行なうことができます。

※ パスワードの初期設定値は「000000」です。

1 一般設定から「ネットワーク設定」を選び、「パスワードをリセット」を押す

設定画面が表示されます。

2 設定を初期化するには「はい」を選ぶ

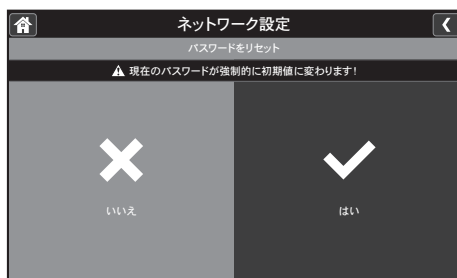
「はい」を選ぶと、「パスワードをリセットします」とメッセージが表示され、パスワードが初期化されます。

初期化が完了すると、再び元の画面に戻ります。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。



情報

IP アドレスなどインターネット設定に関する情報や、機器の固有 ID 番号などを確認できます。

1 一般設定から「ネットワーク設定」を選び、「情報」を押す

情報画面が表示されます。

2 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。



ファームウェア更新

本機のファームウェアを更新するときに使用します。

memo

- インターネットに接続時、最新のファームウェアがある場合は、液晶モニター画面右下にアイコン (📶) を表示してお知らせします。
- 最新ファームウェアの確認および更新を行なうには、インターネットに接続している必要があります。

ご注意

- 更新が完了するまでに時間が掛かることがあります。
- 更新を行なう際は、必ず液晶モニターを AC アダプターに接続し、給電した状態で行ってください。

1 一般設定から「ファームウェア更新」を押す

設定画面が表示されます。

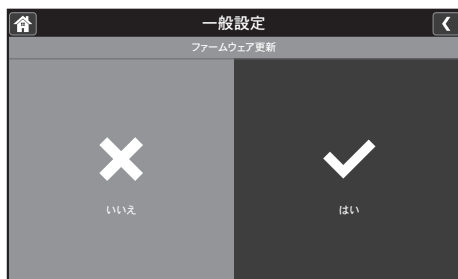
2 「サーバーから」を押す

※「SD カードから」は基本的には使用しません。ファームウェアアップデートを行なう際は「サーバーから」を選び、インターネット経由で行なってください。



3 更新を行なうには「はい」を選ぶ

更新が始まると、経過画面が表示されます。終了すると、本機は自動的に再起動されず。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

スマートフォンまたはタブレットからアクセスする

お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリをインストールすると、本機で受信中のカメラ映像を外出先などから表示・確認したり（「ライブビュー」）、静止画（「スナップショット」）を記録することができます。

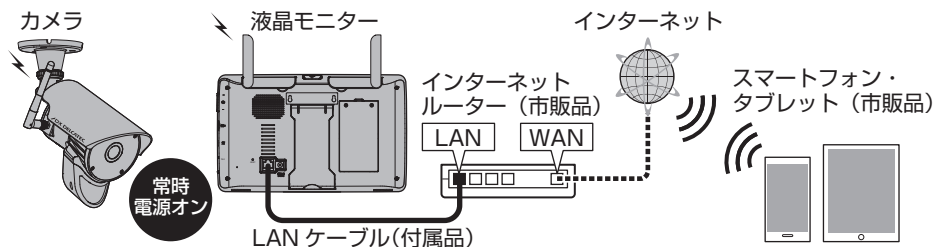
ご注意

- 通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へご確認ください。
- 本機（液晶モニター）は、4台のスマートフォンまたはタブレット端末を登録することが可能です。
- 1台のスマートフォンまたはタブレット端末には、最大4台までの異なる液晶モニターを登録することが可能です（登録できるのは WSC410S および WSC610S の2機種です）。

memo

- この機能は以下の機器でお使いになることができます。
 - ・ iPhone® または iPad®
 - ・ Android™ スマートフォン または タブレット

スマートフォンなどから本機にアクセスする際は
つねに本機を【電源オン】・【インターネット接続】
状態にしておく必要があります



アプリでお使いになれる機能

アプリを使って、おもに以下の操作ができます。

■ ライブビュー

外出先などからスマートフォン・タブレットなどでライブ映像を確認できます（最大で4台のスマートフォン・タブレットで同時に視聴することが可能です）。

■ リモートアクセス

録画映像の再生やマイク・スピーカー・ライトの操作などが行なえます（複数台のスマートフォンまたはタブレットから同時の操作はできません）。

ご注意

- アプリの各機能ご利用の際は、システム側（カメラ・液晶モニター）の電源がオンで、かつインターネットに接続されている必要があります。

アプリをインストールする

お使いになるスマートフォンやタブレットに、専用アプリ「MyCam View」をインストールします。

※ App Store、Playストアで「MyCam View」と入力して検索し、インストールしてください。

※ iPad では検索後、「iPhone のみ」を選択すると表示されます。

アプリに本機を登録する

アプリをインストール後初めてお使いになる際は、アプリへのデバイス登録が必要です。

※ 本書では Android と iPhone に分けて説明します。

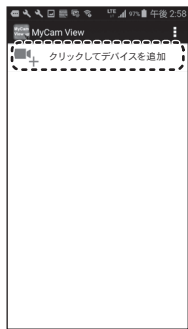
1 「MyCam View」を起動する

「MyCam View」アプリのアイコンをタップします。

スタート画面が表示されたあと、Android 端末では「クリックしてデバイスを追加」を、iPhone では画面下部の「デバイスの追加」アイコンをタップします。



Android 端末の画面



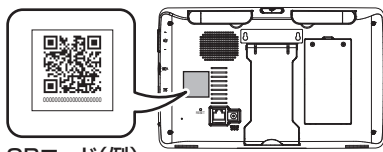
iPhone の画面



2 UID を登録する



「UID」は液晶モニター背面に貼られている QR コードラベルに記載されています。



QRコード(例)

液晶モニター背面

登録のしかたには3通りあります。いずれかの方法で登録してください。

■ QR コードをスキャンして登録する

入力欄下部にある「QR コード」ボタンをタップするとバーコードリーダーが起動します。液晶モニター背面の QR コードを読み取ると自動で UID が入力されます。

■ リストから液晶モニターを選択する

- ① 同一ネットワーク (LAN) 内にある液晶モニターのリスト (UID と IP アドレスのリスト) から、液晶モニターを選択します。
(Android 端末の場合は「検索」ボタンをタップして検索してください。)
- ② 選択する液晶モニター (デバイス) をタップすると UID が自動入力されます。

memo

- お使いのネットワークの設定によっては、機能をご利用になれない場合があります。

■ ID を手動入力する

- ・ Android 端末の場合
入力欄をタップし、「UID 入力」を入力します。
- ・ iPhone の場合
「UID 入力」ボタンをタップした際に表示される入力欄に「UID 入力」を入力します。

3 デバイス名を入力する

表示されるデバイス名をお好みに合わせて変更できます。変更する際は入力欄をタップして入力します。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

アプリに本機を登録する (つづき)

4 パスワードを入力する

入力欄をタップし、初期設定値「000000」を入力します。

※入力した文字は「・・・」のように表示されます。

5 入力が済んだら「OK」をタップする

デバイスの登録が完了すると、デバイスリスト画面が表示されます。デバイス名とステータスがリスト表示されます。



パスワードを変更する

登録が完了したデバイスに初めてアクセスする際、パスワードを初期設定値から任意のパスワードに変更する画面が表示されます。

Android端末の画面



iPhoneの画面



1 表示された画面の「古いパスワード」(Android 端末の場合)、「古い」(iPhone の場合) 欄に古いパスワードを入力する入力欄をタップし、初期設定値「000000」を入力します。

2 「新しいパスワード」(Android 端末の場合)、「新しい」(iPhone の場合) 欄に新しく設定したいパスワードを入力する入力欄をタップし、新しいパスワードを入力します (半角英数のみ)。

3 確認のため「パスワードの確認」(Android 端末の場合)、「確認」(iPhone の場合) 欄にもう一度新しいパスワードを入力して「OK」をタップする

パスワードが変更されると、ライブビュー画面が表示されます。

パスワードが異なると「接続できませんでした」と表示されます。

「MyCam View」をアンインストールして再度インストールした場合は、新しいパスワードを入力してください。

memo

- 複数のスマートフォンまたはタブレットでアクセスする場合は、パスワードを共通にしてください。新しいパスワードを入力すると、スマートフォンまたはタブレットが接続できなくなります。

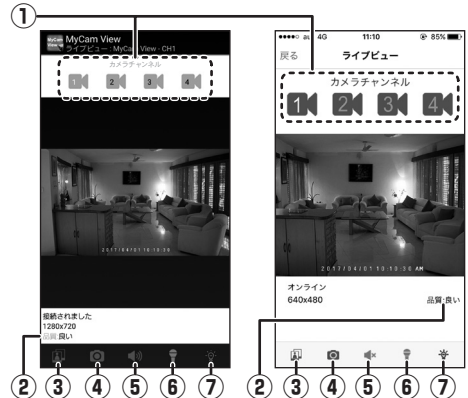
アプリの基本的な使いかた

次回以降アプリを起動すると、登録済みのデバイスがリスト表示されます。

確認したいデバイス名をタップすると、「ライブビュー」画面に切り替わります。

Android端末の画面

iPhoneの画面



ライブビュー画面で次の操作が行なえます。

- 1 カメラチャンネル切替**
複数台のカメラを使用しているとき、カメラチャンネルを切り替えます。
- 2 ステータス表示欄**
ネットワーク接続品質を表示します。


アプリの基本的な使いかた (つづき)

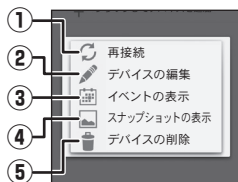
- ③ **スナップショット表示**
「スナップショット」で撮影した映像(静止画)を表示します。
映像(静止画)を選択し、画面上を長押しするとスナップショット削除確認画面が表示されます。削除する場合は「スナップショットを削除します」を選択してください。(Androidのみ)
- ④ **スナップショット**
押すとそのカメラチャンネルの映像(静止画)を撮影します。
- ⑤ **スピーカー**
カメラの音声を切り替えます。
▶…モニタリングする(音声を聞く)
▶x…モニタリングしない(音声を聞かない)
- ⑥ **マイク**
スマートフォンからカメラに送話することができます。
- ⑦ **ライト**
カメラのLED照明を手動で点灯・消灯します。

ライブビュー画面を終了してデバイスリスト画面に戻るときは、端末の「戻る」ボタンで操作してください。

デバイスリスト画面の使いかた

Android 端末の場合

デバイスリスト画面で、デバイス名欄の右端にある  をタップすると、サブメニューが表示されます。



サブメニューでは以下の操作が行なえます。

- ① **再接続**
システムに再接続します。
- ② **デバイスの編集**
登録済みデバイスの情報や、録画スケジュールの確認・編集ができます。
※ 詳細な設定内容については次ページをご覧ください。

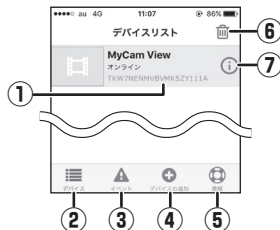
- ③ **イベントの表示**
録画済みの映像を確認できます。
- ④ **スナップショットの表示**
記録済みの映像(静止画)を確認できます。
- ⑤ **デバイスの削除**
選択しているデバイスの登録情報を削除します。

ご注意

- 画面を横にしてライブビュー画面を表示しているとき、カメラチャンネルを切り替えることはできません。

iPhone の場合

デバイスリスト画面のアイコンなどをタップすることにより、以下の各種操作が行なえます。



- ① **システムへの再接続**
システムに再接続します。(ライブビュー画面へ移行します。)
- ② **デバイスリストへの表示**
イベント画面およびデバイスの追加画面、情報画面表示時に選択するとデバイスリスト画面へ戻ります。
- ③ **イベントの表示**
録画済みの映像を確認できます。
- ④ **デバイスの追加**
異なるモニター映像を最大4台まで追加できます。
- ⑤ **アプリ情報**
- ⑥ **デバイスの削除**
選択しているデバイスの登録情報を削除します。
- ⑦ **デバイスの編集**
登録済みデバイスの情報や、録画スケジュールの確認・編集ができます。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

デバイスを編集する

- ・Android 端末の場合
「デバイスの編集」画面で、「詳細設定」の「設定」をタップします。
- ・iPhone の場合
「デバイスの編集」画面で「詳細設定」をタップします。

「デバイスの編集」では以下の設定が行なえます。

名前	デバイスの名称を変更します。
パスワード	パスワードを変更します。 ※ 操作手順は「パスワードを変更する」(⇒44 ページ)と同一です。
ビデオ品質	アプリ画面上でのカメラ映像の表示画質を3段階(高/中/低)に設定できます。 ※ 動画が安定して表示されない場合は、表示画質を下げてください。
照明設定	カメラのLED照明に関する設定をします。 ※ 設定できる内容は「照明設定」(⇒26 ページ)と同一です。
アラーム間隔	登録されているデバイスが検体を検出した際、アプリを起動しているスマートフォン・タブレットに通知します。 ※ ここでは通知が配信される間隔を設定します。
デバイス情報	ネットワーク情報、本製品の端末情報などを表示します。

それぞれの設定項目をタップして設定値を選択、または入力してください。

ご注意

- 「アラーム間隔」は初期設定値が「3分」となっておりますが、カメラの撮影環境によってはスマートフォン・タブレットに大量の通知が配信されることがありますので、適宜変更されることをお勧めします。

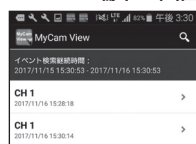
録画済みの映像を確認する

- ・Android 端末の場合
デバイスリスト画面のサブメニューで「イベントの表示」を開くと、録画済み映像リスト画面が表示されます。

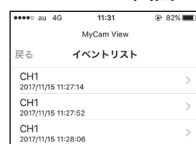
- ・iPhone の場合

デバイスリスト画面の下部のイベントアイコンをタップして「イベント」画面を開き、「イベント」画面にてデバイスを選択すると、録画済み映像リスト画面が表示されます。

Android端末の画面



iPhoneの画面



録画済みの映像が、カメラチャンネル番号と録画日時に基づきリスト表示されます。

リストを絞り込んで表示する

画面右上のQアイコンをタップすると、ソート条件が表示されます。

1時間以内/半日以内/1日以内/1週間以内の条件で絞り込み表示できます。また、日付や時間、カメラチャンネルなどの条件を指定して絞り込むカスタム検索もできます。


録画済みの映像を再生する

再生したいファイル名をタップすると、再生画面に切り替わり、再生が始まります。再生中は画面を拡大して表示したり、一時停止ボタンで再生を一時停止することができます。

memo

- 録画済みの映像を複数の端末で同時に視聴することはできません。(例: アプリを使用してスマートフォンで視聴しているときは、液晶モニターで視聴することはできません。)

アプリを終了する

- ・Android 端末の場合
画面右上のをタップし、表示されたサブメニューから「終了」を選択します。(端末の「戻る」ボタンを押し、「終了」を選択しても終了できます。)
- ・iPhone の場合
ホームボタンを2回押し、表示されたサムネイルをタップしながら上に引き上げるとアプリが終了します。

故障と判断する前に

故障と判断する前に、以下の点をご確認ください。

カメラ・液晶モニター関連

症 状	ここをチェック	対策・処置のしかた
カメラの映像が表示されない	●液晶モニターおよびカメラの電源は入っていますか？	●カメラに専用 AC アダプターを接続し、液晶モニターの電源を「オン」にしてください。 (⇒ 12・13 ページ)
	●カメラと液晶モニターは互いに電波の十分届く場所にありますか？	●液晶モニターとカメラの距離を近づけてください。
	●カメラと液晶モニターは正しくペアリングされていますか？	●カメラと液晶モニターをペアリングしてください。 (⇒ 28 ページ)
	●スタンバイモードになっていませんか？	●スタンバイモードのときは、モニター側面のステータスランプが青色点灯しています。復帰するには電源ボタンを短く押すか、または画面をタップしてください。 (⇒ 14 ページ)
	●カメラが登録されていないチャンネルを選択していませんか？	●カメラが登録されているカメラチャンネルに切り替えてください。 (⇒ 19 ページ)
	●「圏外です」と表示されていませんか？	●カメラの電源を確認してください。 ●設置場所を変更してみてください。
映像がコマ落ちになる	●電波の受信状況は良好ですか？	●映像のフレームレート(1秒当たりの映像コマ数)は電波状況により変化します。
カメラ映像が切り替わらない	●表示したいカメラの On/Off 設定が「○(表示しない)」になっていませんか？	●設定を「 (表示する)」に変えてください。 (⇒ 29 ページ)
	●カメラの電源は入っていますか？	●カメラの電源を「オン」にしてください。 (⇒ 12 ページ)
音声が聞こえない	●音量が0 (消音) になっていませんか？	●音量+/- ボタンで音量を調節してください。 (⇒ 9・20 ページ)
	●分割表示モードで表示していませんか？	●分割表示モード表示中は、音声は出力されませんので、単画面表示に戻してください。
音声が急にこもるようになった	●カメラのマイクに雨水などがかかり濡れていませんか？	●カメラのマイクに雨水などが付着している可能性があります。頻繁に発生する場合は、設置する場所や方向の変更をご検討ください。
受信状況が頻繁に悪くなる	●雨や雪が降っていませんか？ ●以下のような設置環境の場合、受信状況が悪くなるおそれがあります。 ・近隣に電波塔や工場、基地などがある。 ・カメラや液晶モニターのそばで電波干渉を及ぼす機器(電子レンジなど)を使用している。	●カメラを屋外に設置している場合、降雨時や降雪時は受信状況が悪くなる場合があります。 ●電波干渉を及ぼす機器(電子レンジなど)をカメラ、液晶モニターから遠ざける、またはカメラと液晶モニターの設置場所を変えるなどしてください。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

	症状	ここをチェック	対策・処置のしかた
はじめに	無線到達距離(300m)以内に設置しているが受信できない、または電波が弱い	●カメラや液晶モニターの周囲に遮蔽物や反射物などがありますか？	●カメラと液晶モニターの設置場所を変えるなどしてください。 ●無線到達距離は目安です。遮蔽物などのない「見通し」での距離となります。 (⇒7ページ)
	画面がフリーズしている(止まったまま動かない)	●受信中に電波が途切れたおそれがあります。 ●SDカードの読み書きエラーのおそれがあります。	●しばらく経っても映像が回復しない場合は、液晶モニターの電源を入れ直してください。 それでも解決しない場合は、カメラのACアダプターを抜き差ししてください。 ●症状が頻繁に起きる場合は、カメラをペアリングし直す、またはカメラと液晶モニターの設置場所を変えるなどしてください。
使用前に	動体検知録画モードがはたらかない	●モーションセンサー設定の検知範囲設定で、撮影箇所が「非検知エリア」になっていませんか？ ●モーションセンサー感度設定が「Off」になっていませんか？	●撮影箇所を「検知エリア」設定してください。 (⇒38ページ) ●「高」または「低」に設定してください。 (⇒38ページ)
	夜間撮影時、映像が何も映らないまたは、真っ暗な状態のままになる	●夜間、外灯などの光が入っていませんか？	●設置場所やカメラの向きを変えるなどして、夜間でも正しく動作する場所に設置してください。 ●光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーがはたらかず、夜間撮影モードへの切り替えがされない場合があります。
使いかた	夜間撮影時、雪が降ったような映像になる	●空気中のほこりやチリなどが赤外線LEDの光を反射するため、故障ではありません。	●輝度設定で調整してください。 (⇒27ページ)
	昼間でも映像が白黒になる	●カメラに搭載された照度センサーで周囲の明るさを感じし、自動的に夜間撮影モード(白黒映像)に切り替えています。	●設置場所やカメラの向きを変えるなどして周辺環境が明るくなるようにしてください。
設定する	カメラが登録(ペアリング)できない	●カメラの電源は入っていますか？ ●カメラのペアリング登録ボタンを短く押していますか？	●カメラにACアダプターを接続してください。 (⇒12ページ) ●カメラのペアリング登録ボタンは短く押してください。長く押し続けているとペアリング動作を行えない場合があります。 ●電波干渉の確認をしてください。
	LED照明が点灯しない	●アイコンが  (消灯)になっていませんか？ ●照明設定の継続時間が「Off」(点灯しない)になっていませんか？ ●周囲が明るい、または外灯などの光が入っていませんか？	●設定を  (点灯)にしてください。 (⇒21ページ) ●「Off」以外に設定してください。 (⇒26ページ) ●動体検知で点灯する場合、周辺環境が暗くなければ点灯しません。 ●光が入る場所にカメラを設置すると照度センサーがはたらかず、点灯しない場合があります。
専用アプリを使う	LED照明が点灯しつづける	●アイコンがOnになっていませんか？	●モニターで消灯にしてください。 (⇒21ページ)
	カメラのLEDが点滅する	●ACアダプターは正しく接続されていますか？	●カメラとモニターのACアダプターが接続されていることを確認してください。

故障を判断する前に

仕様

録画関連

症 状	ここをチェック	対策・処置のしかた
録画が行なわれない	●「ファイル上書き」を「しない」に設定している場合、保存先のSDカードに十分な空き容量はありますか？	●液晶モニター画面左上のSDカードアイコンが赤色表示の場合は空き容量がありません。空き容量のあるSDカードを挿入してください。
	●録画を行ないたいカメラのOn/Off設定が「○（表示しない）」になっていませんか？	●設定を「 （表示する）」に変えてください。 (⇒ 29 ページ)
	●接続していないカメラを選んでいませんか？	●録画を行ないたいカメラのチャンネル番号を確認してください。
	●液晶モニターにSDカードが正しく挿入されていますか？	●液晶モニターにSDカードを挿入してください。 (⇒ 14 ページ)
スケジュール録画が正しく実行されない	●液晶モニターにSDカードが正しく挿入されていますか？	●液晶モニターにSDカードを挿入してください。 (⇒ 14 ページ)
	●日付・時刻は合っていますか？	●正しい日付・時刻に修正してください。 (⇒ 34 ページ)
	●録画スケジュールは正しく設定されていますか？ また、録画スケジュールを設定したあと、 保存ボタン をクリックしていますか？	●日付や時刻、カメラチャンネル番号などの設定内容を確認してください。 (⇒ 32 ページ)
	●「ファイル上書き」を「しない」に設定している場合、保存先のSDカードに十分な空き容量はありますか？	●液晶モニター画面左上のSDカードアイコンが赤色表示の場合は空き容量がありません。空き容量のあるSDカードを挿入してください。
録画データから音声がかえらない	●録画を行ないたいカメラの「スピーカーをOn/Off」設定が「○（録音しない）」になっていませんか？	●設定を「 （録音する）」に変えてください。
モニターの電源が入らない、もしくはすぐに電源が落ちる	●ACアダプターが接続されていますか？	●ACアダプターが接続されていることを確認してください。 ●充電電池の寿命が考えられます。 なお、液晶モニターの電池は交換できませんので、分解せずに当社までご送付ください。また、処分する場合は当社にてリサイクル処理を行ないますので、リサイクル回収の指示にしたがってください。 (⇒ 6 ページ)
	●ステータスランプが青色点滅していませんか？	●電池の残量が少なくなっています。充電してください。

インターネット・アプリ関連

症 状	ここをチェック	対策・処置のしかた
インターネットに接続できない	●LANケーブルは正しく接続されていますか？	●液晶モニターに正しく接続されているか確認してください。 (⇒ 42 ページ)
	●「高度な設定」後に、液晶モニターを再起動しましたか？	●設定を有効にするには、液晶モニターを再起動してください。 (⇒ 39 ページ)
	●設定は正しく行なわれていますか？	●「ネットワーク設定」の「情報」を開いて、設定が正しいか確認してください。 (⇒ 40 ページ)
アプリでのリモート視聴ができない	●4台を超える接続がされていませんか？	●4台を超える接続がされていないことを確認してください。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

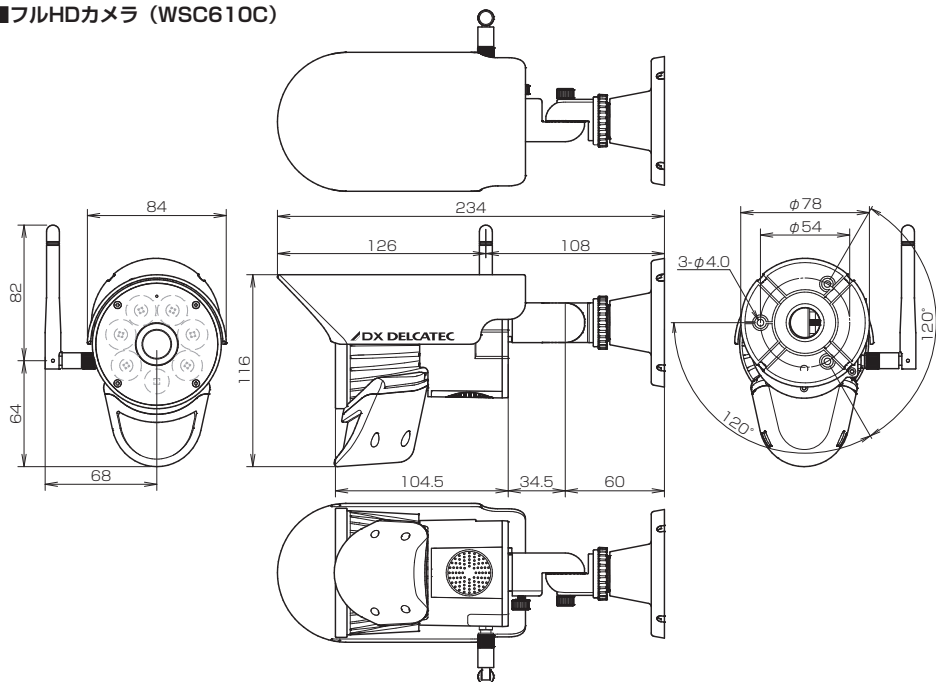
故障と判断する前

仕様

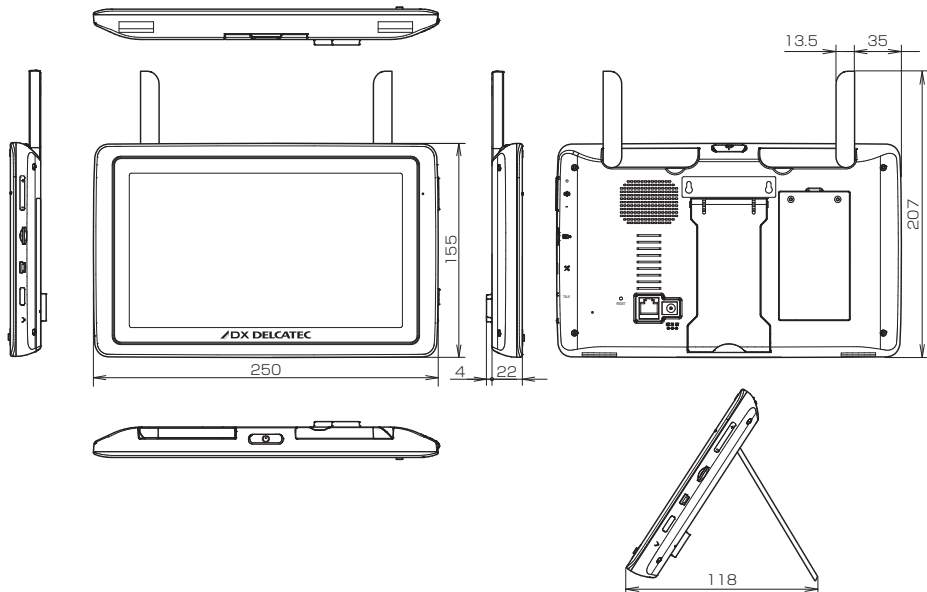
仕様

外形寸法 (単位: mm)

■フルHDカメラ (WSC610C)



■9インチ液晶モニター (WSC610M)



はじめに

使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

規格特性

型番	WSC610S
----	---------

無線通信部

通信方式／変調方式	2.4GHz FHSS/GFSK
データレート	6Mbps
映像方式	H.264
見通し通信距離 [m]	最大 300

カメラ

画素数	約 210 万画素 (1,920 × 1,080)
イメージセンサー	1/2.7 インチ CMOS
視野角 [度]	水平 55
人感検知距離 [m]	5 (検知角: 約 60 度)
検知方式	パッシブインフラレッド (PIR) 方式
赤外線投光距離 [m]	12
最低被写体照度 [lux]	Color: 6.0 / IR LED 点灯時: 0
防塵／防水性能	IP65
音声機能	マイク、スピーカー
白色ライト [lm]	500 (全光束)
点灯モード	手動／動体検知 (点灯時間: 1 分 / 3 分 / 10 分) / 点灯時間タイマー
最大カメラ台数 [台]	4
使用温度範囲 [°C]	- 20 ~ + 40
消費電力 [W]	最大 11.7 (DC9V/1300mA)
質量 [g]	約 457
外形寸法 (幅×高さ×奥行) [mm]	84 × 116 × 234 (アンテナ部除く)

液晶モニター

モニターサイズ／解像度	9 インチ / 1024 × 600
タッチパネル	抵抗膜方式
音声機能	マイク、スピーカー
録画媒体	microSD (microSDHC/microSDXC) カード (最大 128GB)
録画解像度	1920 × 1080 (1080p) 1280 × 720 (720p)
録画モード	動体検知、スケジュール、手動
複数カメラ同時録画	最大 4 台同時録画可能
上書き録画	可能
充電時間／使用時間 [時間]	約 9 / 約 2
使用温度範囲 [°C]	- 10 ~ + 40
電源電圧 [V]	AC100 (50Hz/60Hz)
消費電力 [W]	5.25 (DC5V / 1050mA)
質量 [g]	約 600
外形寸法 (幅×高さ×奥行) [mm]	250 × 155 × 22

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

専用アプリを使う

故障と判断する前に

仕様

付属品

- ・カメラ用アンテナ×1
- ・カメラ取付用ネジ×3
- ・コンクリートアンカー×3
- ・カメラ用 AC アダプター (コード長 1.8m) (CS18J090200FJF) ×1
- ・モニター用 AC アダプター (コード長 1.8m) (CS12N050200FJF) ×1
- ・LAN ケーブル (1.8m) ×1
- ・microSD カード (8GB) ×1
- ・取扱説明書×1

スマートフォン・タブレット

対応 OS	iOS 6.0 以降 Android 4.0 以降
専用アプリ	MyCamView

- ※ **MCS** microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
 ※ この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。
 ※ 規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
 ※ 本製品は日本国内でのみ使用できます。FOR USE IN JAPAN ONLY.

ホームページでも初期設定や、
各種端末の詳しい手順を確認できます。
右の QR コードからアクセスしてください。



スマートフォンで
各種設定方法が
わかる



保証書

型番
WSC610S

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや害虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧・周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩耗などにより生じる外觀上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車載、船載への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
6. 期間中の転売、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
7. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間中のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ご購入・ご店名		
販売店		
電話()	-	
お名前	様	
お名前	がな	
お客様	ご住所	
お買上年月日	保証期間	お買上日から
年 月 日	1 年 間	

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター ☎0120-941-542
お昼時間も土・日・祝日もご利用ください!
DXアンテナ株式会社

携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用にならない場合 03-4530-8079
 (受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

(1901)